Pioneer sound.vision.soul

DVD 5.1ch サラウンドシステム

HTZ-1000DV
HTZ-1500DV

お客様登録のご案内

http://www3.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての**「お客様登録」**をお願いいたします。
ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報などのご案内をさせていただきます。
また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告[異常時の処置]

プラグを抜く

- **万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。**

プラグを抜く

- **万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

プラグを抜く

- **万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

本機の特長　～こんなことができます～

ホームシアターの実現

✣ **DVD-Audio と SACD の高音質フォーマットにフルスペック対応**
全てのチャンネルに高性能 192kHz/24bit 対応 DAC を搭載。DVD-Audio のフルスペック 192kHz/24bit 2 チャンネルから 96kHz/24bit 6 チャンネルまで対応するとともに、SACD の 2 チャンネルおよびマルチチャンネルに対応。高次元の音楽空間を心ゆくまでお楽しみいただけます。

✣ **ドルビーデジタル、DTS デコーダー搭載**
ドルビーデジタル音声やDTS音声で収録された映画や音楽ソフトを臨場感豊かに再生し、映画館やコンサートホールの迫力をご家庭で手軽にお楽しみいただけます。

✣ **MPEG-2 AAC デコーダー搭載**
BSデジタル放送のサラウンド音声も、マルチチャンネルサラウンドでお楽しみいただけます。

✣ **ドルビープロロジック II 回路搭載**
2チャンネルステレオ音声や、ドルビーサラウンド音声で収録されたソフトもドルビープロロジック II 回路を使ってマルチチャンネルサラウンドでお楽しみいただけます。

簡単便利！！

✣ **リスニング環境の簡単設定（9 ページ）**
お部屋のタイプとリスニングポジションを選ぶだけでサラウンド環境を改善する機能を持っているので、難しいと思われがちなホームシアターに関する設定が簡単に行えます。（ご自分で細かく設定することもできます）

✣ **豊富な接続端子**
豊富な接続端子を備え、デジタル接続や映像の S2 端子にも対応しているため、テレビ周りの映像機器を一手に引き受けることができます。

有機 EL ディスプレイ

✣ **多彩な表現を実現する有機ELディスプレイ**
視認性の良い白色ディスプレイを採用し、高品位な演出を行います。また、操作ガイドがディスプレイに表示されるため各種設定を簡単に行うこともできます。

バラエティ豊かなホームシアター

✣ **豊富なリスニングモード (58 ページ)**
映画や音楽だけでなく、TV やゲームなど、お聴きになるソフトに合わせたサウンド効果を加えることができます。

✣ **バーチャル機能搭載 (60 ページ)**
ヘッドホンや 2 つのスピーカーのみといった環境でも、マルチチャンネルサラウンドで聴いているような臨場感でお楽しみいただけます。

✣ **ミッドナイトモード (63 ページ)**
夜中など、小音量で聴いているときでも大音量で聴いているときのような臨場感を味わうことができます。

✣ **マナーモード (63 ページ)**
高音が耳につくときや、低音が響きすぎるときにこれらの音を和らげて再生することができます。

✣ **P.BASS モード (62 ページ)**
低音を強調して、映画や音楽を迫力ある臨場感で再生します。

環境に優しく

✣ **省エネルギー設計**
本製品は、待機時（スタンバイ時）消費電力を0.5W以下に抑えた設計となっております。

もくじ

さっそくＤＶＤを再生しましょう！.............. 8

基本操作

DVD/DVD-Audio/SACD/CD/MP3/ビデオCD応用編

ディスクを再生する

サラウンドで再生する

タイマーを使う

設定をする

DVDに関する設定

サラウンドに関する設定

その他の設定

外部機器を使う

その他

さっそくDVDを再生しましょう！

1 テレビの電源を入れましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

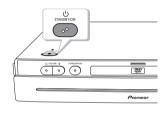
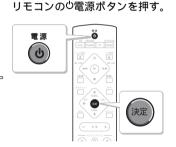
2 テレビの入力を切り換えましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の入力切換ボタンで切り換えます。例えば、本機をテレビのビデオ入力２端子に接続したときはビデオ入力２を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源を入れましょう

本体の⏻STANDBY/ONボタンを押す。

または

リモコンの⏻電源ボタンを押す。

テレビ画面に下記のように表示されれば映像の接続はOK!

① まず[Pioneer]が表示されます。

⬇

② 次に下記の画面が表示されます。

③ リモコンの**決定ボタン**を押して**4**に進みます。

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？またはシステムケーブルがしっかりと接続されていますか？(システムセットアップガイド)

Q2: 映像が映らない！

→ ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？(システムセットアップガイド)

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

Q3: リモコンで操作できない！

→ ディスプレイユニットとの距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲でのみ操作することができます。

→ リモコンをテレビや本機などに向けて操作していませんか？ディスプレイユニットのリモコン受光部に向けて操作してください(セットアップガイド)。

4 テレビの種類を選びましょう

お使いのテレビが[ワイドテレビ(16:9)]か[普通のテレビ(4:3)]かを選択します。

リモコンの ⇦⇨ で選択。
決定ボタンで次の画面へ。

リモコンの ⇦⇨ で選択。
決定ボタンを押して終了します。

メ モ

▼ この設定は、一度設定すると次に電源を入れたときは表示されません。
▼ 設定終了後、テレビの種類を変更したいときは、初期設定の**[テレビ画面]**(72ページ)で設定してください。
▼ **[戻る]**を選んでから決定ボタンを押すと、最初の画面に戻ります。

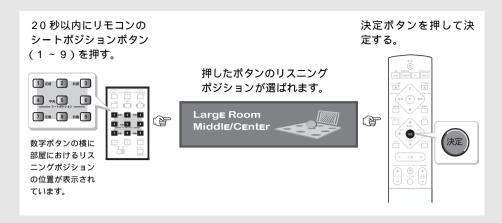
5 部屋のサイズとリスニングポジションを選びましょう

視聴位置のすぐそばにおいたスピーカーと遠いところにおいたスピーカーとでは、そのスピーカーから聴こえる音のタイミングや大きさにズレが生じ、適切なサラウンド効果を得ることができません。ここではSmall、Middle、Largeの中からご自分の部屋に近いサイズを選び、リスニングポジションの設定で9つのシートポジションの中からご自分のリスニングポジションに近い設定を選びます。選択できる部屋のサイズの目安はSmall Roomが約6畳、Middle Roomが約12畳、Large Roomが約18畳です。

メインサブ切り換えスイッチをメインに切り換えてからリモコンのルーム設定ボタンを押す。

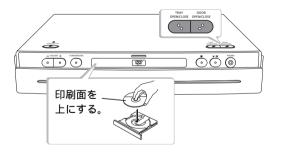
リモコンの ⇧⇩ で Small、Middle、Large を選択。
決定ボタンでリスニングポジションの設定（次ページ）へ。

押すごとに下記のように切り換わります。

Large Room
↕
Middle Room
↕
Small Room

メ モ

▼ ここでは実際に、各スピーカーまでの距離と各スピーカーの出力レベルを変更しています。これらの項目を更に細かく設定することにより、より快適なサラウンド空間をつくり出すこともできます (93 ページ)。更に細かく設定した場合、ルーム設定は無効となります。
▼ 設定後にもう一度**ルーム設定ボタン**を押すことで、現在のルーム設定を確認することができます。確認中にもう一度**ルーム設定ボタン**を押すと再びルーム設定のモードになります。

6 DVD をセットしましょう

本体の **TRAY OPEN/CLOSE ボタン**を押す。

ディスクテーブルが出てきます。図のようにDVD をセットしてください。

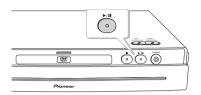
DVD をセットしたら、本体の **TRAY OPEN/CLOSE ボタン**を押して、ディスクテーブルを閉めます。

メ モ

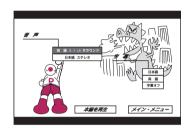
▼ ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。
▼ 本体の **DOOR OPEN/CLOSE ボタン**または **TRAY OPEN/CLOSE ボタン**を押して電源を入れることもできます。

7 それでは DVD を再生しましょう！

本体の ▶/II ボタンを押す。

または

リモコンの DVD/CD ボタン、または ▶ ボタンを押す。

DVD のメニュー画面が表示されたら･･･

再生を始めると最初にメニュー画面を表示する DVD があります。メニュー画面の内容や操作方法は DVD によって異なりますが、基本的な操作は以下の通りです。

- 映画などの DVD のメニューでは、お好みの音声や字幕などを選択することができます。DVD によっては、本編再生中に本機のリモコンで音声や字幕を切り換えることもできます。（14 ～ 15 ページ参照）

リモコン	基本的な操作内容
	画面上で選択する項目を、上下左右に移動するときに使用します。
	選択した項目を、決定するときに押します。
	再生中などに、DVDのメニューを表示させるときに押します。
	DVDのメニューにて、前の画面に戻るときに押します。
	階層のある DVD のメニューで、はじめのトップ・メニューに戻るときに押します。

Q&A

Q ：ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。または、再生ができない！

→ DVD がディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ DVD が汚れていませんか？ DVD をクリーニングしてください。
→ DVD の表裏が正しくセットされていますか？
→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「2」と「ALL」のみです。(111、114 ページ)
→ 本機の内部に結露が付いている可能性があります。結露を除去してください。(126ページ)

メ モ

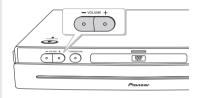
▼ 画面の上下に帯がつく DVD があります。本機の故障ではありません。
▼ DVDのメニューによっては、リモコンの数字ボタンにて番号を選んで再生できるものもあります。

注 意

◆ 2 層(Dual Layer)の DVD の場合、1 層から 2 層目に切り換わるポイントで、一瞬画像が静止することがあります。

8 音量を合わせてみましょう

本体の VOLUME − / ＋を押す。
大きくするときは＋側を押し、小さくするときは−側を押します。

または

リモコンの音量を押す。
大きくするときは＋側を押し、小さくするときは−側を押します。

Q&A

Q1 : 音が出ない！
→ ボリュームを上げてください。

Q2 : フロントスピーカーとサブウーファーからしか音が出ない！
→ 接続が正しくされているか、別紙の ***「システムセットアップガイド」*** を参照してください。
→ サラウンドボタンを押して、マルチチャンネル再生に切り換えてください(59 ページ)。

注 意

◆ DVD-Audio のディスクによってはヘッドホン挿入時はフロントの L/R 成分しか出力されないものがあります。

9 ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう

リモコンの ►► ボタンを押す。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ►►]とテレビ画面に表示されます。
⬇
2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ►►]とテレビ画面に表示されます。
⬇
3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ►►]とテレビ画面に表示されます。

見たい場面まで進めたら ► ボタンを押す。

10 ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう

リモコンの ◀◀ ボタンを押す。

1 回押すと・・・速い
[スキャン 1 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。
⬇
2 回押すと・・・もっと速い
[スキャン 2 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。
⬇
3 回押すと・・・さらに速い
[スキャン 3 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

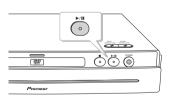
見たい場面まで戻したら ▶ ボタンを押す。

メ モ

▼ DVD-Audio のディスクを再生中は、早戻し / 早送りの速さが 2 段階(**「スキャン 2 ◀◀/▶▶」**→**「スキャン 3 ◀◀/▶▶」**)になります。
▼ ◀◀/▶▶ を押し続けるとスキャン 1 の速さで早戻し / 早送りを行います。この場合、見たい場面になったら ◀◀/▶▶ を離します。

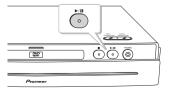
11 ちょっと休憩というときは一時停止しましょう

本体の ▶/II ボタンを押す。

または

リモコンの II ボタンを押す。

通常の再生に戻すときは。。。。

本体の ▶/II ボタンを押す。

または

リモコンの ▶、または II ボタンを押す。

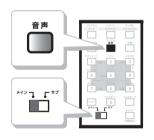
12 字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう（お好みの音声と字幕に切りかえる）

DVD の中には、複数の音声と字幕が収録されているものがあります（ディスクによって収録されている言語数は異なります）。
ここでは英語と日本語が収録されている DVD-Video を吹替え版に設定する例を説明します。DVD によっては下記の操作で音声や字幕を切り換えられないものがあります。このようなときは DVD のメニュー画面で切り換えてください（11 ページ）。

音声を切りかえるには

ここでは英語で聞こえる音声を日本語にします(もちろん複数の言語が収録されている DVD-Video では他の言語を選ぶこともできます)。
音声が二重(二カ国語)で記録されている DVD-R/RW の場合も**リモコンの音声ボタン**で音声を切り換えます。ただし、**主、副、主 / 副音声**の切り換えは**リモコンの音声ボタン**では切り換えられないので「デュアルモノの設定」（97 ページ）をご覧になって切り換えを行います。
複数の音声が収録されている DVD-Audio では、音声の種類を切り換えることができます。

DVD を再生しているときに 、メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えた後、リモコンの音声ボタンを押す。

☞

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

例 DVD-Video の音声切換画面

＊ 3/2.1CH はディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは111 ページをご覧ください。

注 意

◆ DVD-Audioソフトを再生中に音声ボタンを押して音声の切り換えを行うと、そのトラックの始めから再生を行います。

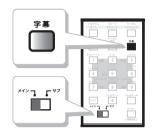
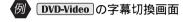
Q&A

Q ：マルチチャンネル再生にならない

→ サラウンドボタンを押して、お好みのモードを選んでください。（59 ページ）

字幕を切り換えましょう

音声の切り換えで台詞を日本語にしたので字幕はオフを選びます(もちろん複数の言語が収録されている DVD-Video では他の言語を選ぶこともできます)。

DVD を再生しているときに、メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えた後、リモコンの字幕ボタンを押す。

一度押すと現在再生している字幕を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

＊ 字幕が収録されていないときは[––]が表示されます。

メ モ

▼ ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、下記のようなとき初期設定（75 ～ 78 ページ）にて設定した状態に戻ります。
⇨ リジューム機能を解除したとき
⇨ DVD を取り出したとき

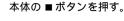
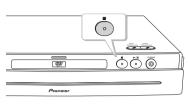
▼ 音声 / 字幕の切換画面表示中にリモコンの⇩ボタンを押すと、再生中のディスクに収録されている音声 / 字幕の一覧を表示することができます。一覧中に⇧⇩ボタンと決定ボタンで音声 / 字幕を切り換えることができます（切り換えられないディスクもあります）。

▼ 再生中の DVD によっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。

それでは思う存分 DVD の世界を楽しんでください！

13 DVDを停止しましょう

本体の ■ ボタンを押す。

☜ または ☞

リモコンの ■ ボタンを押す。

■ボタンを 1 回押すと表示部に･･･

Stop ➡ Resume

･･･と表示され、停止した場所を記憶します**(リジューム機能)**。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVDを取り出すとリジューム機能は解除されます。

☞ 停止中に**■ボタン**をもう一回押すと表示部に･･･

DVD

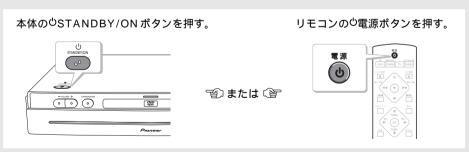
･･･と表示され、リジューム機能が解除されます。次に再生したときはDVDの最初から再生します。

メ モ

▼ DVD-Audio ディスクはリジューム機能が使えません。

14 本機の電源を切りましょう

電源を切る前にDVDを取り出しましょう。**TRAY OPEN/CLOSEボタン**を押して、ディスクテーブルを開けてから取り出します。

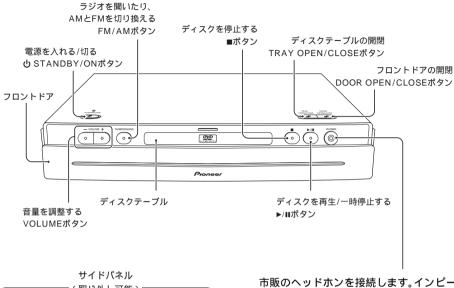
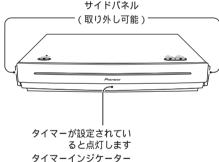
本体の⏻STANDBY/ON ボタンを押す。　☜ または ☞　**リモコンの⏻電源ボタンを押す。**

リモコンの⏻**電源(本体の⏻STANDBY/ON)ボタン**を押すと表示部に･･･

See You ･･･と表示されます。

メ モ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の**[See You]**表示が消えていることを確認してください。**[See You]**表示中に抜くと本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。

各部のなまえを覚えましょう

本体部

市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス16 Ω～50 Ω（推奨 32 Ω)、直径3.5Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。
ヘッドホン端子

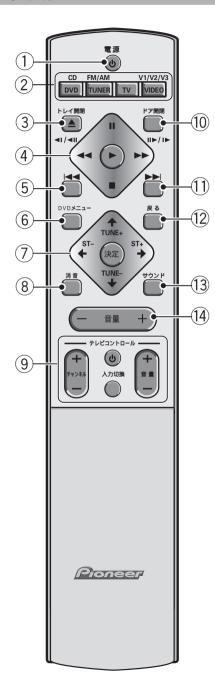
サイドパネルの外し方

サイドパネルはお客様のお好みにより、インテリアに合わせて取り外すことができます。取り外し方は以下の通りです。

① **付属の六角レンチでサイドパネルの両サイド4箇所のネジを外します**

ネジを外したらサイドパネルを本体から離します。ネジは再びサイドパネルを取り付けるときに必要です。

② **付属のネジに交換して止めます**

リモコン

① ⏻ **電源ボタン**

② **DVD/CDボタン**
DVDやCDを再生したり、一時停止するときに使用します。

FM/AM TUNERボタン
ラジオを聞いたり、FM局とAM局を切り換えるときに使用します。

TVボタン
接続したテレビの音を聞くときに使用します。

V1/V2/V3 VIDEOボタン
本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。押すごとに、Video1とVideo2、Video3が切り換わります。

③ **トレイ開閉▲ボタン**

④ **►ボタン**
ディスクを再生するときに使用します。

■ ボタン
ディスクを停止するときに使用します。

II ボタン
ディスクを一時停止するときに使用します。

◄◄/◄I/◄II ボタン(36〜37ページ)

►►/II►/I► ボタン(36〜37ページ)
再生中は映像や音声の早送り/早戻しをします。一時停止中に押すとコマ送り/コマ戻し再生を行い、押し続けるとスロー再生をします。

⑤ **I◄◄ ボタン**
現在再生中のチャプター/トラックの始めに戻ります。

⑥ **DVDメニューボタン**
DVDのメニュー画面を表示するときに使用します。また、MP3やCD、DVD-RW、SACD、ビデオCDでは、ディスクナビゲーター画面を表示するときに使用します。

⑦ **⇧ ⇩⇦ ⇨ /決定ボタン**
項目の選択や変更、またはDVDなどのメニューや設定画面にて、カーソルを上下左右に移動し、決定ボタンで決定するときに使用します。

⑧ **消音ボタン**
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

⑨ **テレビコントロールボタン**
以下のボタンは、本機のリモコンに、お使いのテレビのプリセットコードを設定すると使用することができます。（26ページ）

テレビ ⏻
テレビの電源を入れます。

テレビ入力切換ボタン
テレビのライン入力を切り換えます。

テレビチャンネルボタン
テレビのチャンネルを変更します。

テレビ音量ボタン
テレビの音量を調整します。

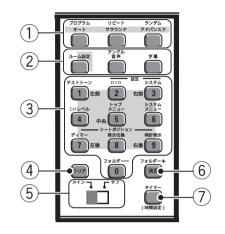
⑩ **ドア開閉ボタン**

⑪ **▶▶I ボタン**
現在再生中のチャプター / トラックの次に進みます。

⑫ **戻るボタン**
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

⑬ **サウンドボタン(61〜63ページ)**
DSP モードの効果を調整したり、高音、低音の調整などを行うモードにしたいときに使用します。

⑭ **音量ボタン**

リモコンドアパネル（メインのとき）

① **オートボタン(58ページ)**

サラウンドボタン(59ページ)

アドバンスドボタン(60〜61ページ)

② **ルーム設定ボタン(9〜10ページ)**

音声ボタン(14ページ)
言語、または音声を切り換えるときに使用します。

字幕ボタン(15ページ)
DVDの字幕言語を切り換えるときに使用します。

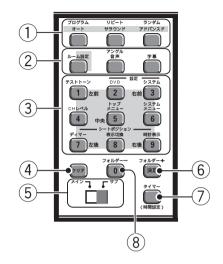
③ **数字ボタン**

④ **クリアーボタン**
リピート、ランダムまたはプログラム再生などで設定した内容を取り消します。

⑤ **メイン/サブリモコン切り換えスイッチ**
リモコンをメインモードで使用するか、サブモードで使用するかを切り換えます。

⑥ **決定ボタン**
設定または選択した項目を決定します。

⑦ **タイマー（時間設定）ボタン(25、64〜65ページ)**
タイマーまたは時間を設定するときに使用します。

リモコンドアパネル（サブのとき）

① **プログラムボタン(40ページ)**

リピートボタン(38ページ)

ランダムボタン(39ページ)

② **アングルボタン(41ページ)**
DVDのアングルを切り換えるときに使用します。

③ **テストトーンボタン(91ページ)**

DVD設定ボタン
メインメニュー画面を表示したり、操作/設定の途中で画面をオフにします。

システム設定ボタン(95〜98ページ)
各種システム設定を行ないます。

CHレベルボタン(92ページ)

トップメニューボタン
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

システムメニューボタン
各入力ごとに各種のメニュー設定を行ないます。

ディマーボタン(101ページ)

表示切換ボタン(54ページ)
ディスク情報の表示および切り換えをします。

時計表示ボタン
時計を見るときに押します。

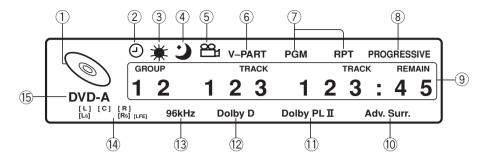
④ **（メインのときのみ操作可能）**

⑤ **メイン/サブリモコン切り換えスイッチ**
リモコンをメインモードで使用するか、サブモードで使用するかを切り換えます。

⑥ **フォルダーサーチ+ボタン**
MP3の再生中に、次のフォルダーの始めに送ります。

⑦ **（メインのときのみ操作可能）**

⑧ **フォルダーサーチ−ボタン**
MP3の再生中に、1つ前のフォルダーの始めに戻ります。

表示部（DVDの場合）

① **DVD/CDファンクションインジケーター**
ディスク再生中は回転し、停止中は静止し、一時停止中は点滅表示したりします。

② **目覚ましタイマーインジケーター**
目覚ましタイマー設定時に点灯します。

③ **目覚ましタイマー動作インジケーター**
目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。

④ **スリープタイマーインジケーター**
スリープタイマー設定時に点灯します。

⑤ **アングルインジケーター**
DVDソフトを再生中、アングルを変更できる場面で点灯します。(41ページ)

⑥ **V-PARTインジケーター**
DVDビデオまたはDVDオーディオ再生中、映像信号のある場面で点灯します。

⑦ **PGM/RDM/RPT/RPT-1/PGM RPTインジケーター**
PGMはプログラム設定時、または再生時に点灯します。(40、46ページ)
RPTは全曲リピート再生時に点灯し、RPT-1は1曲リピート再生時に点灯します。(38、43ページ)
RDMはランダム再生時に点灯します。(39、45ページ)
プログラムリピート再生しているときはPGM RPTが点灯します。

⑧ **PROGRESSIVEインジケーター**
映像の出力方式をプログレッシブに切り換えたときに点灯します。

⑨ 文字や数字でトラック数や再生経過時間などの情報を表示します。

⑩ **サラウンドモードインジケーター**
Adv. Surr、Surr offまたはDownmixのいずれかが点灯します。（61ページ）

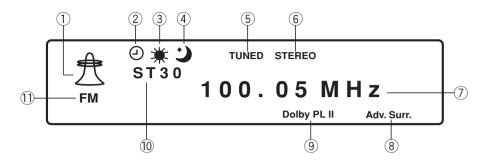
⑪ **Dolby PL II インジケーター**
ドルビープロロジック II 処理が行なわれているときに点灯します。（59ページ）

⑫ **入力音声フォーマットインジケーター**
圧縮音声を入力しているときに、そのフォーマットがDolby D、dts、AACのいずれかを表示します。

⑬ **サンプリング周波数インジケーター**
リニアPCM信号を再生しているときにその信号の周波数を表示します。

⑭ **フォーマットインジケーター**
再生している圧縮音声のフォーマットを表示します。例えばマルチチャンネル(5.1ch)のソースを再生中は、すべてが点灯します。ただし、ソースによってはすべてのスピーカーから音が出ているとは限りません。

⑮ **ディスクタイプインジケーター（GUI）**
再生しているディスクによってDVD/DVD-RW/DVD-A/SACD/CD/VCD/MP3/No Discのいずれかが点灯します。
GUIと表示されているときはテレビ画面にOSD画面が表示されます。

表示部（TUNERの場合）

① **TUNERファンクションインジケーター**

放送局を受信しているときは点灯し、放送局を受信していないときは点滅します。

② **目覚ましタイマーインジケーター**

目覚ましタイマー設定時に点灯します。

③ **目覚ましタイマー動作インジケーター**

目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。

④ **スリープタイマーインジケーター**

スリープタイマー設定時に点灯します。

⑤ **TUNEDインジケーター**

放送局を受信しているときに点灯します。

⑥ **STEREO/MONOインジケーター**

FM放送で、ステレオ放送を受信しているときはSTEREOが点灯します。FM放送の受信設定をMonoに設定するとMONOが点灯します。(33ページ)

⑦ **周波数表示インジケーター**

選択している放送局の周波数が表示されます。

⑧ **サラウンドモードインジケーター**

Adv. Surr.、Surr offのどちらかが点灯します。

⑨ **Dolby PL II インジケーター**

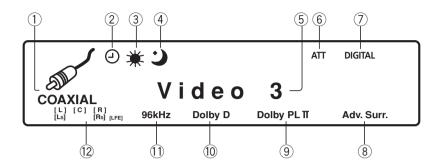
ドルビープロロジック II 処理が行なわれているときに点灯します。（59ページ）

⑩ **ステーション番号インジケーター**

記憶した放送局を呼びだしたときに、どのステーションが選択されているかを表示します。

⑪ **FM/AMインジケーター**

FM放送受信時はFMが点灯し、FM放送受信時はAMが点灯します。

表示部（外部入力の場合）

① **音声入力信号インジケーター**

ANALOG、COAXIAL、OPTICALのいずれか選択されている音声入力が表示されます。

② **目覚ましタイマーインジケーター**

目覚ましタイマー設定時に点灯します。

③ **目覚ましタイマー動作インジケーター**

目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。

④ **スリープタイマーインジケーター**

スリープタイマー設定時に点灯します。

⑤ **入力表示インジケーター**

Video1、Video2、Video3、Televisionのいずれか選択されている入力が表示されます。

⑥ **ATTインジケーター**

アッテネーターがオンのときに点灯します。（105ページ）

⑦ **DIGITALインジケーター**

入力をデジタルで設定しているときにデジタル信号を入力すると点灯します。

⑧ **サラウンドモードインジケーター**

Adv. Surr、Surr offまたはDownmixのいずれかが点灯します。

⑨ **Dolby PL II インジケーター**

ドルビープロロジック II 処理が行なわれているときに点灯します。（59ページ）

⑩ **入力音声フォーマットインジケーター**

圧縮音声を入力しているときに、そのフォーマットがDolby D、dts、AACのいずれかを表示します。

⑪ **サンプリング周波数インジケーター**

リニアPCM信号を再生しているときにその信号の周波数を表示します

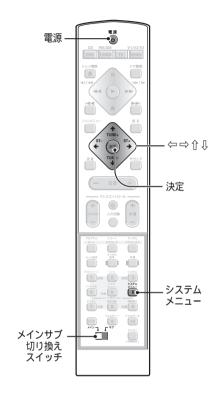
⑫ **フォーマットインジケーター**

再生している圧縮音声のフォーマットを表示します。例えばマルチチャンネル(5.1ch)のソースを再生中は、すべてが点灯します。ただし、ソースによってはすべてのスピーカーから音が出ているとは限りません。

注 意

◆ 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、ディスプレイユニットの設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

デモ表示を解除しましょう

電源コードをコンセントに差し込んだときに、表示部にいろいろな表示を自動的に行うことを、デモ表示といいます。

デモ表示をしないように設定するには

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

3. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

4. ST– ST+

⇦ ⇨ で"Demo Mode"にします

Demo Mode

5. TUNE+ 決定 TUNE–

⇧ ⇩ で"Off"にしてから、決定ボタンを押します

Off

再びデモ表示を設定する場合は、"On"にしてから決定ボタンを押します。DVDファンクションに切り換わり、デモ表示を開始します。

メ モ

▼ デモ表示を"Off"に設定しても、エンターテインメントモードが設定されている場合、5分以上何も操作がなかったときは表示部にいろいろな表示を自動的に行います。（101ページ）

注 意

◆ デモ表示を解除した場合でも、電源コードを抜いたり停電した状態が長時間続くと、再度電源コードをコンセントに差したり通電が再開したときに、デモ表示をする場合があります。

時計をあわせましょう

お買い上げ時の時計表示は、12時間表示です。時計をあわせていないと、タイマー動作（64 ～ 66 ページ参照）を行うことはできません。また、時計表示を24時間表示に切りかえることもできます。（99ページ参照）

例）午後 6 時 40 分にあわせる場合

1. メイン　サブ
メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. タイマー（時間設定）
タイマーボタンを押します

3. **⇦ ⇨ で "Clock Adjust" にしてから、決定ボタンを押します**

Clock Adjust

4. **⇧ ⇩ で「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"6 pm" にします。

6 : 00 pm

5. **⇧ ⇩ で「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"40" にします。

6 : 40 pm

「分」が入力され、時計の設定が終了します。

時計表示にするには

1. メイン　サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. 時計表示 9
時計表示ボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。

→ パターン1 → パターン2 → パターン3 → 時計表示OFF →

電源がオフ（スタンバイ状態）の場合は、パターン 3 を数秒間表示します。

注 意

◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

メ モ

▼ 時計表示でパターン1～3を選んだときは、操作した5秒後に時計表示に戻ります。

お手持ちのテレビを操作しましょう

TV コントロールに、お手持ちのテレビのメーカーコードを設定すると、いつでも設定されたテレビの操作をすることができます。ただし、メーカーコード表にないメーカーのテレビは操作できません。また、メーカーコードが記載されていても操作できない機種もあります。

1. 操作したいテレビに、リモコンを向けます

2. クリアボタンを押しながら、3桁のメーカーコードを入力します

正しいコードナンバーを入力すると、電源ON/OFF信号がリモコンから送信され、テレビの電源がONのときはOFFになり、OFFのときはONになります。

テレビの電源がON/OFFしない場合で、そのメーカーに別のコードナンバーがある場合は、別のコードナンバーを使って手順 1 からやり直してみてください。

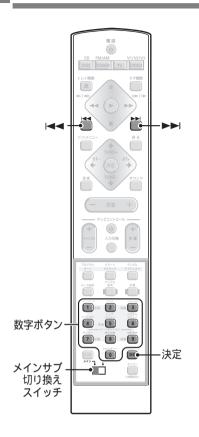
メーカーコード表

下記に記載されていないメーカーについては、123～124 ページをご覧ください。

メーカー	コード
アイワ	**660**
NEC	**659**
サンヨー	**614, 635, 645, 648, 621**
シャープ	**602, 619, 627**
ソニー	**604**
東芝	**605, 602, 626, 621, 653**
日立	**631, 633, 634, 636, 642, 643, 654, 606, 610, 624, 625, 618**
パナソニック	**631, 607, 608,642, 622**
ビクター	**613**
富士通	**648, 629**
FUNAI	**640, 646, 658**
三菱	**609, 610, 602, 621, 631**
パイオニア	**600 (お買い上げ時の設定), 631, 632, 607, 636, 642, 651**

Q&A

Q ： テレビの電源が ON/OFF しない

→ テレビに STANDBY/ON モードがついていない場合は、電源は切り換わりません。テレビのチャンネルを操作するなどして、実際に動作するか確認してください。

DVD のタイトルやチャプターを指定して再生しましょう

DVDのメニューを使わないで、ダイレクトに見たいタイトルやチャプターを再生することができます。
(ダイレクトサーチ機能)
DVD-Audio では、グループ / トラックを指定して再生します。

タイトル / グループを指定して再生するには･･･

1. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます**

2. **停止中に、数字(0～9)ボタンでタイトル/グループ番号を入力します**

例えば、タイトル 3 を再生するには、3 を押します。

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- タイトル/グループを指定して再生できないディスクもあります。

3. **決定ボタンを押します**

チャプター / トラックを指定して再生するには･･･

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます**

2. **再生中に、数字(0～9)ボタンでチャプター / トラック番号を入力します**

例えば、チャプター12を再生するには、1, 2 を押します。

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- 現在再生中のタイトル / グループ内のチャプター / トラックのみを指定することができます。

3. 決定 **決定ボタンを押します**

DVD のチャプターのスキップ(頭出し)をしましょう

押した回数だけスキップします。

DVD-Audio では、トラックをスキップします。押した回数だけチャプター / トラックがスキップします。

見たいチャプター / トラックに進むには･･･

再生中に、▶▶|ボタンを押します

次のチャプター / トラックに進みます。

見たいチャプターに戻るには･･･

再生中に|◀◀ ボタンを押す

再生中のチャプター / トラックの先頭に戻ります。2 回押すと 1 つ前のチャプター / トラックに戻ります。

メ モ

▼ タイトルとチャプターについて

DVD ではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVD ビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVD ビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように 1 曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

タイトル1 タイトル2

チャプター1 チャプター2 チャプター1 チャプター2

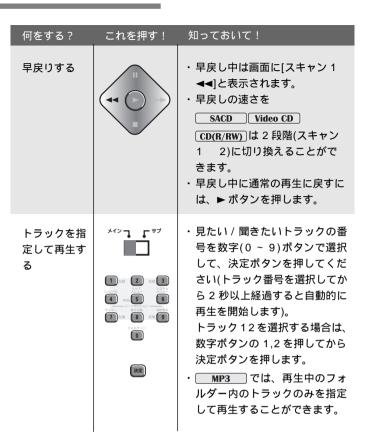
DVDビデオ

いろいろなディスクを再生しましょう

再生する前に10ページを参照して、ディスクをセットしてください。

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	・Video CDでは、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については11ページをご覧ください。 ・MP3では、ディスク情報を読み込み中に、画面に[しばらくお待ちください]と表示されます。表示が消えてから再生してください。
停止する	■	Video CDでは、PBC再生していないときのみディスプレイユニットに**[Resume]**と表示されます（31ページ）。その場合停止したところを記憶します。リジューム機能を解除するには、**■ボタン**をもう一度押します。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または**❚❚ボタン**を押します。
頭出しする	❙◄◄　►►❙	押した回数だけスキップします。
早送りする	►►	・早送り中は画面に[スキャン1 ►►]と表示されます。 ・早送りの速さを SACD Video CD CD(R/RW)は2段階(スキャン1→2)に切り換えることができます。 ・早送り中に通常の再生に戻すには、►ボタンを押します。

ディスクを再生する

何をする？	これを押す！	知っておいて！
早戻りする		・早戻し中は画面に[スキャン 1 ◀◀]と表示されます。 ・早戻しの速さを SACD Video CD CD(R/RW) は 2 段階(スキャン 1 → 2)に切り換えることができます。 ・早戻し中に通常の再生に戻すには、► ボタンを押します。
トラックを指定して再生する	メイン サブ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 決定	・見たい / 聞きたいトラックの番号を数字(0 ～ 9)ボタンで選択して、決定ボタンを押してください(トラック番号を選択してから 2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 トラック 12 を選択する場合は、数字ボタンの 1,2 を押してから決定ボタンを押します。 ・ MP3 では、再生中のフォルダー内のトラックのみを指定して再生することができます。

Q&A

Q1: ビデオ CD が再生できない。

→ パソコンで記録されたビデオ CD は再生できないことがあります。

Q2: MP3 ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ 本機はマルチセッションに対応していますが、セッションがクローズされていないと再生することができません。

→ 画面に[このフォーマットは再生できません]と表示されていませんか。このときは、下記のような原因が考えられます。

・ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットレベル 2 に準拠していない。

・ MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 44.1kHz、または 48kHz で記録されていない(109 ページ)。

Q3: CD-R/RW が再生できない。

→ パソコンで記録された CD-R/RW は再生できないことがあります。

Q4: CD-G が再生できない。

→ CD-G のグラフィック映像は再生できません。

Q5: リジューム機能が働かない。

→ SACD、CD、MP3 では、リジューム機能が働きません。

ビデオ CD を再生しましょう

メニュー画面から再生しましょう（PBC 再生）

Video CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. **PBC 再生対応のビデオ CD ディスクをセットしてから、► ボタンを押して再生します**

メニュー画面が表示され、PBC 再生を開始します。

ビデオCDカラオケ

1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

2. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます**

3. **数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいトラックを選んでから、決定ボタンを押します**

再生を開始します。再生中に戻るボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには

メニュー画面を表示中に、⏮ または ⏭ ボタンを押します

メニュー画面を出さずに再生するには（PBC 再生を解除して再生する）

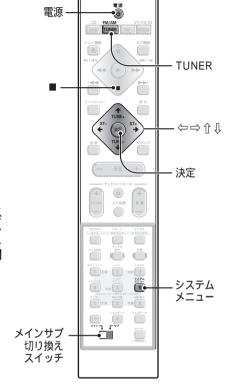
停止中に下記のいずれかのボタンを使って、再生するトラックを選択します。

⏮ または ⏭ ボタンで、再生するトラックを選びます

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換え、数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいトラックを選んでから、決定ボタンを押します

トラックを選択してから、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
例えば、トラックの12曲目を再生するには、1, 2 を押してから、決定ボタンを押します。

ラジオ放送を聞きましょう

電源
TUNER
■
⇦ ⇨ ⇧ ⇩
決定
システムメニュー
メインサブ切り換えスイッチ

TUNER

アンテナが接続されていないと、FM/AM放送を聞くことはできません。別紙のシステムセットアップガイドを参照して、アンテナを接続してください。

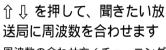
1. 本体またはリモコンのTUNERボタンを押します

FM/AM TUNER

ラジオが聞ける状態になります。

押すごとに、FMとAMが切り換わります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときはAMを選択してください。

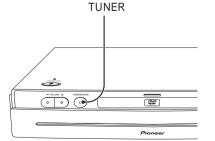
2. ⇧ ⇩ を押して、聞きたい放送局に周波数を合わせます

TUNE+
TUNE–

周波数の合わせ方（チューニングのしかた）は、以下の3種類があります。

オートチューニング

⇧ ⇩ を押して、周波数が動きはじめたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度 ⇧ ⇩ を押すか、■ボタンを押します。

マニュアルチューニング

⇧ ⇩ を 1 回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

ハイスピードマニュアルチューニング

⇧ ⇩ を押し続けます
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM 放送の雑音を減らしましょう

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FM のステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切り換える"**AUTO**"に設定されています。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. システムメニューボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で"FM Mode"にします

FM Mode

4. ⇧ ⇩ で"Mono"にしてから、決定ボタンを押します

Mono

表示部に、MONOインジケーターが点灯します。
FMステレオ放送をステレオで受信するように設定する場合は、" **Auto**"にします。

メ モ

▼ 本機はテレビ放送の1～3チャンネルの音声を受信できます。
各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1ch： 95.75MHz
2ch： 101.75MHz
3ch： 107.75MHz
音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります。

▼ 1ステップの周波数は切り換えることができます。詳しくは99ページを参照してください。

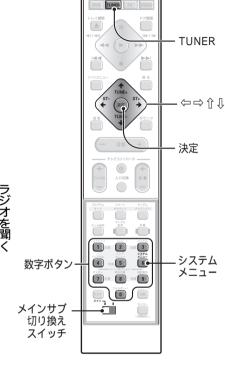
注 意

◆ FM放送の90MHz～108MHzはテレビ信号が影響して、正しくオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。

◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

Q&A

Q: FM ステレオ放送なのに、ステレオにならない

→ 放送されているFMがモノラル放送か、電波の弱い場合は、ステレオ放送になりません。

受信した放送局を記憶しましょう

FM/AM放送あわせて30局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

1. FM/AM TUNER

本体またはリモコンのTUNERボタンを押し、記憶したい放送局を受信します

放送局の受信のしかたは、32ページを参照してください。

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

3. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

4. ST− ST+

⇦ ⇨ で"Station Memory"にします

Station Memory

5. TUNE+ TUNE−

⇧ ⇩ で、記憶するステーションを選びます

記憶できるステーションは1～30まであります。

ST24

数秒間なにも操作しないと、キャンセルされます。

6. 決定

決定ボタンを押して記憶させます

記憶した放送局を呼び出しましょう

各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

1. 本体またはリモコンのTUNERボタンを押します

FM/AM TUNER

ラジオが聞ける状態にします。

2. ⇦ ⇨ で、記憶したステーションを選びます

ST24 FM 79.50MHz

リモコンの文字ボタンで選ぶこともできます

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える

メイン サブ

2. ステーション番号と同じ数字ボタンを押します

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。
例えばステーション２５を選ぶときは数字ボタンの 2,5 を押します。

3. 決定ボタンを押します

文字/数字ボタンを押して2秒以上待つと、決定ボタンを押さなくても選ぶことができます。

注 意

- ◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
- ◆ 停電や電源プラグを抜いた状態が長時間続くと、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。

DVD/DVD-Audio/SACD/CD/MP3/ビデオCD応用編

応用編 ディスクを再生する

DVDやビデオCDのスロー再生をする

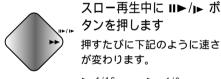
DVD-Audio では、スロー再生ができません。

1. **再生中に、IIボタンを押して、一時停止します**

2. **II▶/I▶ ボタンを押し続けます**

[スロー 1/16 I▶]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に II▶/I▶ ボタンを押します

押すたびに下記のように速さが変わります。

通常の再生に戻すには･･･

▶ボタンを押します

DVDにて、逆方向にスロー再生するには･･･

DVDディスクではさらに、逆方向にスロー再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀I/◀II ボタンを押し続けます

[スロー 1/16 I▶]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

DVDにて、逆方向のスロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に、◀I/◀II ボタンを押します

押すたびに下記のように速さが変わります。

注 意

- ◆ スロー再生中は音声が出力されません。
- ◆ スロー再生できないディスクもあります。
- ◆ 一時停止中の映像にブレがあるときは、初期設定の[ポーズモード]を[フィールド]に切り換えてください(74 ページ)。
- ◆ ビデオCDでは、逆方向のスロー再生はできません。

DVDやビデオCDのコマ送り再生をする

DVD-Audio では、コマ送り再生ができません。

1.
再生中に、IIボタンを押して、一時停止します

2. **II▶/I▶ ボタンを押します**

押すごとに、コマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

▶ボタンを押します

DVDにて、逆方向にコマ送り再生するには･･･

DVDディスクではさらに、逆方向にコマ送り再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀I/◀II ボタンを押します

押すごとに、逆方向へコマ送りをします。

注 意

- ◆ コマ送り再生中は、音声が出力されません。
- ◆ コマ送り再生できないディスクもあります。
- ◆ 逆方向のコマ送り再生中、映像が揺れることがあります。
- ◆ 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- ◆ 一時停止中の映像にブレがあるときは、初期設定の[ポーズモード]を[フィールド]に切り換えてください(74ページ)。
- ◆ DVDオーディオには静止画が収録されているディスクがあります(114ページ)。静止画の種類によっては、コマ送り再生のように静止画を進めたり戻したりすることができます。
- ◆ ビデオCDでは、逆方向のコマ送り再生はできません。

MP3のフォルダーのスキップ(頭出し)をする

押した回数だけスキップします。

次のフォルダーに進むには･･･

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **再生中に、フォルダー＋ボタンを押します**

1回押すと、次のフォルダーに進みます。

前のフォルダーに戻るには･･･

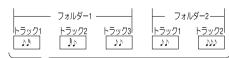
1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **再生中に、フォルダー－ボタンを押します**

1回押すと1つ前のフォルダーに戻ります。
続けてフォルダーサーチボタンの－を押すと、さらに1つ前のフォルダーに戻ります。

メ モ

▼ MP3について

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

MP3ファイルが記録されているCD-ROM

DVD /DVD-Audio /SACD / ビデオ CD /CD /MP3 を繰り返し再生する（リピート再生）

DVD のタイトル / チャプター(場面)、DVD-Audio のグループ / トラック、ビデオ CD/ CD/SACD のトラック(曲)、MP3 のフォルダー / トラック(曲)を繰り返し再生します。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. リピート サラウンド **再生中に、リピートボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

DVD

チャプターリピート
↓
タイトルリピート
↓
リピートオフ

DVD-Audio

トラックリピート
↓
グループリピート
↓
リピートオフ

ビデオCD/CD/SACD

トラックリピート（再生中のトラック）
↓
ディスクリピート（ディスクの全曲）
↓
リピートオフ

MP3

トラックリピート
↓
フォルダーリピート
↓
ディスクリピート（ディスクの全曲）
↓
リピートオフ

リピート再生を止めるには

■ボタンを押します

メモ

- ▼ プログラム再生中(40、46ページ)に**リピートボタン**を押すと、プログラム再生を繰り返します。
- ▼ リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
- ▼ リピート再生はプレイモード画面でも設定することができます(43 ページ)。

注意

- ◆ DVD ではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。
- ◆ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。
- ◆ ビデオ CD の PBC 再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからリピートボタンを押します。
- ◆ リピート再生中にアングルを切り換える(41 ページ)と、リピート再生は解除されます。

DVD /DVD-Audio /ビデオ CD /CD/ MP3 を順不同に再生する（ランダム再生）

DVD/DVD-Audioを順不同に再生するには

DVDのタイトルやチャプターまたはDVD-Audio のグループやトラックを順不同に再生します。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. ランダム アドバンスド **再生中に、ランダムボタンを押します**

DVD の場合は押すごとに、ランダムタイトルとランダムチャプターが、DVD-Audio の場合はランダムトラックとランダムグループが切り換わります。

3. 決定 **決定ボタンを押します**

再生しているタイトル内のチャプターかタイトルを順不同に再生します。

Q&A

Q1: SACD のランダム再生ができない。

→ SACD では、ランダム再生ができません。

ビデオ CD、CD、MP3 を順不同に再生するには

ビデオ CD や CD、MP3 のディスク内のトラック（曲）を順不同に再生します。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. ランダム アドバンスド **再生中に、ランダムボタンを押します**

ランダム再生を止めるには

■ボタンを押します

メ モ

▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。

▼ ランダム再生中に|◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。このとき、現在再生中のチャプターより前のチャプターに戻ることはできません。

▼ ランダム再生はプレイモード画面でも設定することができます(45 ページ)。

注 意

◆ ビデオCDのPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を数字ボタンで入力し、それからランダムボタンを押します。

◆ DVD の場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。

◆ ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。

◆ DVD-R/RWではランダム再生ができません。

◆ ランダム再生を繰り返してリピートすることはできません。また、ランダム再生とプログラム再生を同じに行うことはできません。

CDやMP3、SACDの聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

CDやMP3、SACDの聞きたい曲を最大24曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. メイン　サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. プログラム オート
停止中にプログラムボタンを押します

PGM 00

CDでは、プログラム総再生時間を表示します。

3. メイン　サブ
メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

4. **MP3は、聞きたい曲のフォルダー番号の数字ボタンを押してから、⇨を押します**

フォルダー2を選んだときは、数字ボタンの2を押してから、⇨ボタンを押します。

PGM 01　2：－－－

5. **聞きたい曲の番号の数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

決定

15曲目を選んだときは、数字ボタンの1と5を押してから、決定ボタンを押します。

例）MP3のフォルダー2の15曲目を入力したとき（このとき⇦を押すとフォルダーの選択に戻ります）

PGM 01　2：15

例）CDの4曲目を入力したとき

PGM 01　4

5. **手順4と5を繰り返して、聞きたい曲のフォルダーや曲番号を登録します**

CDのときは、手順5だけを繰り返します。

6. **►ボタンを押します**

プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき

クリアボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- 停止中にクリアボタンを押したとき
- 本体のTRAY OPEN/CLOSEまたはリモコンのトレイ開閉 ⏏ ボタンを押して、ディスクを取り出したとき
- 電源をオフしたとき
- DVD以外の入力を選択したとき

メモ

▼ 手順4で⇨の代わりに決定ボタンを押すと、選んだフォルダーごとにプログラム登録することができます。

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ 一度停止してから、もう一度プログラム再生するときは、**プログラムボタン**を押してから**►ボタン**を押します。

▼ プログラム再生中にリピートボタンを押すと、プログラムした内容を繰り返し再生します。**（プログラムリピート再生）**

▼ DVDやDVDオーディオ、DVD-RW、ビデオCDなどのディスクのときはプレイモード画面の設定になります(46ページ)。この場合、**プログラムボタン**を押すと、ディスクの再生中でもプレイモード画面になります。

▼ CDやMP3、SACDの再生中はプレイモード画面での設定になります。

DVDの映像のアングルを切りかえる（マルチアングル）

複数のアングルが収録されている DVD-Video では、再生中にアングルを切り換えることができます。詳しくは111、114ページをご覧ください。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. アングル 音声 **アングルボタンを押します**

現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すごとにアングルが切り換わります。

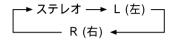
アングル　現在/総数 2/4

メ モ

▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。
▼ マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします。(80ページ)

音声を切り換えるときは

1. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えて音声ボタンを押します**

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

ステレオの表示例

音声　ステレオ

メ モ

▼ SACDの音声を切り換えることはできません。
▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

応用編　ディスクを再生する

プレイモード画面でいろいろな操作をする

プレイモード画面などのテレビに表示された設定画面の操作は、以下のボタンを使用します。

ボタン	操作内容
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
戻る	一つ前の画面に戻る。
DVD 2 設定	操作/設定の途中で画面をオフにする。
	プレイモード画面を終了する。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

3. [プレイモード]を選んでから、決定ボタンを押します

4. 項目を選択します

- **A-B リピート(43 ページ)**
  再生中のタイトルやトラック内の指定した範囲を繰り返し再生する。
  (SACD MP3 では、A-B リピート再生を選択することができません)。
- **リピート(43 ～ 44 ページ)**
  タイトルやチャプター、ディスクやトラックを繰り返し再生する。
- **ランダム(45 ページ)**
  タイトルやチャプター、トラックを順不同に再生する。(SACD では、ランダム再生を選択することができません)。
- **プログラム(46 ～ 48 ページ)**
  タイトルやチャプター、トラックの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(49 ～ 51 ページ)**
  タイトルやチャプター、フォルダーやトラック、時間を指定して再生する。

選んだ項目についての操作方法は、それぞれのページを参照して操作してください。

Q&A

Q ：設定画面が表示できない

→ ビデオ CD の PBC 再生中は設定画面を表示することができません。PBC 再生を解除してください。

応用編　ディスクを再生する

指定した箇所を繰り返し再生する(A-B リピート再生)

1. **再生中に、*プレイモード画面*から、[A-Bリピート]を選択してから、⇨ を押します**

42 ページを参照してください。

2. **A-B リピートを開始したい箇所で、[A(開始箇所)]を選んでから、決定ボタンを押します**

3. **A-B リピートを終了したい箇所で、[B(終了箇所)]を選択して決定します**

- A-B リピート再生を開始します。

A-B リピート再生を解除するには･･･

[オフ]を選択して決定します

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

注 意

◆ DVD-R/RWでは、異なるタイトルをまたいでA-B リピート再生することができません。

DVD を繰り返し再生する（リピート再生）

DVDのタイトル/チャプター(場面)を繰り返し再生します。

DVD-Audio では、グループ / トラックをリピート再生します。

1. **繰り返したいタイトルまたはチャプター(場面)を再生します**

2. ***プレイモード画面*から、[リピート]を選択してから、⇨を押します**

42 ページを参照してください。

3. **リピート再生の種類を選択して決定します**

- リピート再生を開始します。

- タイトル / グループリピート
  現在再生中のタイトル / グループを繰り返し再生します。
- チャプター / トラックリピート
  現在再生中のチャプター / トラックを繰り返し再生します。
- リピートオフ
  通常の再生に戻ります(リピート再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

注 意

◆ リピート再生できないディスクがあります。
◆ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

ビデオCD、CD、SACD、MP3を繰り返し再生する（リピート再生）

ビデオCD/CD/SACDのトラック(曲)、MP3のフォルダー / トラック(曲)を繰り返し再生します。

1. 繰り返したい曲を再生します

2. 再生中に、*プレイモード画面*から、[リピート]を選択してから、⇨ を押します

42ページを参照してください。

3. リピート再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します

リピート再生を開始します。

MP3 のリピート画面

- ディスクリピート
  - 現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
- フォルダーリピート(MP3 のみ)
  - 現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
- トラックリピート
  - 現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
- リピートオフ
  通常の再生に戻ります(リピート再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

注 意

◆ ビデオCDのPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからリピートボタンを押します。

◆ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

DVDを順不同に再生する（ランダム再生）

DVDのタイトルやチャプターを順不同に再生することができます。

DVD-Audio では、グループ / トラックをランダム再生します。

1.

プレイモード画面から、[ランダム]を選択してから、⇨を押します

42ページを参照してください。

2.

ランダム再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します

- ランダム再生を開始します。

DVD-Video のランダム画面

- ランダムタイトル / グループ
  現在再生中のタイトル / グループを順不同に再生します。
- ランダムチャプター / トラック
  現在再生中のタイトル / グループ内のチャプター / トラックを順不同に再生します。
- ランダムオフ
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

ビデオCD、CD、MP3を順不同に再生する（ランダム再生）

ビデオCDまたはCDのトラックを順不同に再生することができます。

1.

プレイモード画面から、[ランダム]を選択してから、⇨を押します

42ページを参照してください。

2.

[オン]を選んでから、決定ボタンを押します

ランダム再生を開始します。

- **オン**
  トラックを順不同に再生します。
- **オフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

Q&A

Q1: SACDのランダム再生ができない。

→ SACDでは、ランダム再生ができません。

メモ

▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。

▼ ランダム再生中に|◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。このとき、現在再生中のチャプターより前のチャプターに戻ることはできません。

注意

◆ ビデオCDのPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を数字ボタンで入力し、それからランダムボタンを押します。

◆ DVDの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。

◆ DVD-R/RWではランダム再生ができません。

◆ ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。

順番を変えて再生する (プログラム再生)

24 ステップまでプログラム登録をすることができます。

DVD-Audio では、グループ / トラックを選択します。

メ モ

▼ DVDの場合、リモコンのメインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えてから**プログラムボタン**を押すと、プログラム入力のプレイモード画面が表示されます。この場合は手順 3 から始めてください。

DVD のタイトルやチャプターの順番を変えて再生するには

1. ***プレイモード画面から、「プログラム」を選択してから、⇨ を押します***

42 ページを参照してください。

2. **[プログラム入力・編集]を選んでから、決定ボタンを押します**

3. **プログラムしたいタイトル / グループまたはチャプター / トラックを選択して決定します**

DVD-Video のプログラム画面

プログラム

プログラムステップ	タイトル(1-03)	チャプター(1-036)
01. 01	タイトル 01	チャプター 001
02.	タイトル 02	チャプター 002
03.	タイトル 03	チャプター 003
04.		チャプター 004
05.		チャプター 005
06.		チャプター 006
07.		チャプター 007
08.		チャプター 008

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

4. **手順 3 を繰り返して他のタイトル / グループまたはチャプター / トラックをプログラムします**

5. **► ボタンを押します**

- プログラムした順に再生を開始します。

CD、ビデオ CD、SACD、MP3 のトラックやフォルダーの順番を変えて再生するには

1. ***プレイモード画面から、[プログラム]を選択してから、⇨を押します***

42 ページを参照してください。

2. **[プログラム入力・編集]を選んでから、決定ボタンを押します**

3. **プログラムしたいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します**

ディスクによってプログラム入力・編集画面が異なります。

- MP3 では、フォルダー/トラックを選択します。
- プログラム入力中に戻るボタンを押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

4. **手順 3 を繰り返して他のフォルダー/トラックをプログラムします**

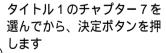
5. **► ボタンを押します**

- プログラムした順に再生を開始します。

ステップの間にプログラムを追加するには･･･

例) プログラムステップ 02 の前にタイトル 1 のチャプター 7 を追加する場合

1. **カーソルをプログラムステップ 02 に合わせます**

2. **タイトル 1 のチャプター 7 を選んでから、決定ボタンを押します**

プログラムステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとプログラムステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには･･･

例) プログラムステップ 02 のプログラムを削除する場合

1. **カーソルをプログラムステップ 02 に合わせます**

2. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えてからクリアボタンを押します**

メイン サブ

プログラムステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが 1 つ前に繰り上がります。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには･･･

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

注 意

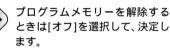
◆ ディスプレイに[GUI]が表示されているときは、リモコンの**クリアボタン**でプログラム再生を解除 / 全消去することができません。表示中のプレイモード画面、画質調整画面、または初期設定画面などをオフにしてから操作してください。

DVDにてプログラムした内容を記憶するには･･･ (プログラムメモリー)

DVDディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶するように設定します。プログラムメモリーしたディスクをセットすると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。プログラムメモリーは**DVD-Video**をプログラムしたときのみ選択することができます。

1. [プログラムメモリー]を選択してから、⇨ を押します

2. [オン]を選んでから、決定ボタンを押します

プログラムメモリーを解除するときは**[オフ]**を選択して、決定します。

メ モ

▼ プログラムメモリー機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

▼ DVD-R/RWでは、プログラム再生ができません。

▼ プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[リピート]から[プログラムリピート]を選択します(43～44、46～47ページ)。

▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。

▼ プログラム再生中に▶▶|を押すと、次のプログラムステップのタイトル/グループまたはチャプター / トラックを再生します。

注 意

◆ タイトル / チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。

見たい場面を探す (サーチモード)

DVDの見たい場面を探すには

DVD-Audio では、グループサーチ / トラックサーチを選択します。

1. ***プレイモード画面から、[サーチモード]を選択してから、⇨を押します***

42ページを参照してください。

2. **サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します**

DVD-Videoのサーチモード画面

- **タイトル / グループサーチ**
  タイトル / グループを指定して再生する。
- **チャプター / トラックサーチ**
  チャプター / トラックを指定して再生する。
- **タイムサーチ(DVD-Audioは除く)**
  時間を指定して再生する。

3. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

4. **数字(0～9)ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力します**

入力を間違えたときはクリアボタンを押します。
指定したタイトル / グループ、チャプター / トラック、または時間から再生を開始します。

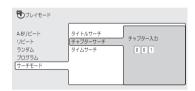
5. **決定ボタンを押します**

タイトル / グループサーチを選択したとき･･･

DVD-Video のタイトルサーチ画面

例えば、DVDビデオのタイトル3を再生するには、3を押してから決定ボタンを押します。

チャプター / トラックサーチを選択したとき･･･

DVD-Video のチャプターサーチ画面

例えば、DVDビデオのチャプター12を再生するには、1, 2を押してから決定ボタンを押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

再生中だけの操作となります。

例えば、
- 21分43秒を選ぶには、2, 1, 4, 3を押して決定ボタンを押します。
- 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0を押して決定ボタンを押します。

メ モ

- ▼ サーチ機能を禁止しているディスクがあります。
- ▼ タイムサーチでは、指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ▼ DVDオーディオではタイムサーチはできません。
- ▼ DVD-Audioには、静止画が収録されているディスクがあります(114ページ)。静止画の種類によって、静止画の番号(ページ)を指定してサーチすることができます。

CD、ビデオCD、SACD、MP3の再生したい場面を探すには

1. ***プレイモード画面から、[サーチモード]を選択してから、⇨を押します***

42ページを参照してください。

2. **サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します**

MP3 のサーチモード画面

- **フォルダーサーチ(MP3のみ)**
  フォルダーを指定して再生する。
- **タイムサーチ(Video CDのみ)**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生する。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生する。

3. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

4. **数字(0～9)ボタンで再生したいフォルダー/トラック、または時間を入力します**

指定したフォルダー、トラック、または時間から再生を開始します。

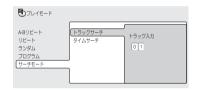
5. **決定ボタンを押します**

フォルダーサーチを選択したとき･･･

MP3 だけの機能となります。

例えば、フォルダー3 を再生するには、3 を押してから決定ボタンを押します。

トラックサーチを選択したとき･･･

Video CD のトラック入力画面

例えば、トラック 12 を選択するには、1, 2 を押してから決定ボタンを押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

ビデオ CD だけの機能となります。

例えば、
- 21 分 43 秒を選ぶには、2, 1, 4, 3 を押して決定ボタンを押します。
- 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0 を押して決定ボタンを押します。

Q&A

Q ：タイムサーチができない

→ SACD、MP3、または CD(CD-R/RW)ではタイムサーチができません。

Q ：SACD のトラック 1 が指定できない。

→ 2 枚組以上の SACD では、2 枚目以降のディスクの 1 曲目がトラック 1 でないことがあります。例えば、ディスク 1 に 10 曲、ディスク 2 に 10 曲収録されている SACD では、ディスク2の1曲目がトラック11となることがあります。

ディスクナビゲーターを使って再生する

見たいタイトルやチャプターを、テレビ画面から簡単に指定して見ることができます。

DVD を再生するには

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. **DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**

DVD メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順 3 に進んでください。

3. **[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します**

4. **カーソルをタイトル / グループ、またはチャプター/ トラックに移動します**

DVD-Video **のディスクナビゲーター画面**

DVD-R/RW **のディスクナビゲーター画面**

プレイリストを設定しているときは、[オリジナル]、または[プレイリスト]を選択して再生することができます。

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。
- 再生中に**[オリジナル]**と**[プレイリスト]**を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。

5. **再生したいタイトル、またはチャプターを選んでから、決定ボタンを押します**

選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

メ モ

▼ **オリジナルとは**

DVD レコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。

プレイリストとは

オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

CD、ビデオ CD、MP3 を再生するには

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. DVD 2 **DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**

DVD メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順 4 に進んでください。

3. **[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します**

TUNE+ ST− 決定 ST+ TUNE−

4. **再生したいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します**

TUNE+ ST− 決定 ST+ TUNE−

再生を開始します。

MP3 のディスクナビゲーター画面

半角英数字以外で入力されているフォルダー / トラックの名前が[F_033]/[T_035]のように表示されることがあります(MP3 のみ)。

Q&A

Q ：設定画面が表示できない

→ ビデオ CD の PBC 再生中は設定画面を表示することができません。この場合、停止中に設定画面を表示させるか、PBC 再生を解除してください(31 ページ)。

ディスクの情報を見る

テレビ画面にて、DVDのディスクの情報を見るには

DVD-Audio ではグループ / トラックの情報が表示されます。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

メイン サブ

2. 再生中に、表示切換ボタンを押します

表示切換 8

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。また、ディスクによっては表示される内容が異なります。

1回押すと･･･

現在再生中のタイトル / グループの情報が表示されます。

例) DVD-Video DVD-R/RW のタイトル情報画面

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声 1 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕 2 日本語			アングル 1

2回押すと･･･

現在再生中のチャプター / トラックの情報と転送レート *2 が表示されます。

例) DVD-Video のチャプター情報画面

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	1/36	0.15	1.53	2.08
# *1	転送レート：▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮		8.1Mbps	

例) DVD-R/RW のチャプター情報画面

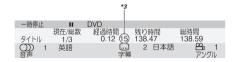
再生	► DVD	チャプターリピート
	現在/総数	
チャプター	1/36	
# *1	転送レート：▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮	8.1Mbps

3回押すと･･･

表示が消えます。

*1 24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されているときに表示されます(69ページ)。

*2 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが画質が良いとはかぎりません。

*3 一時停止中に現在再生しているフレームの番号が表示されます。

テレビ画面にて　ＣＤ、ビデオＣＤ、SACD、MP3 の情報を見るには

SACD では、[SACD 再生]の設定(87 ページ)で選択されている再生エリアによって表示される情報が異なります。

1. メイン サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. 表示切換 8
再生中に、表示切換ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。また、ディスクによっては表示される内容が異なります。

1 回押すと･･･

- MP3 CD(R/RW) SACD では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- Video CD では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3 のトラック情報画面

再 生	►	MP3	フォルダーリピート	
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0:06	3:26	3:32
トラック名	Track1			

2 回押すと･･･

- MP3 では、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。
- Video CD では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- CD(R/RW) SACD では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3 のフォルダーの情報画面

再 生	►	MP3	フォルダーリピート
	現在/総数		
フォルダー	1/17		
フォルダー名	Folder1		

3 回押すと･･･

表示が消えます。

Q&A

Q ：時間情報などが表示されない

→ ファイナライズ（108 ページ）していないCD-R/RW ディスクでは一部の時間情報が表示されないことがあります。

→ ビデオ CD の PBC 再生中は一部の情報が表示されません。この場合、停止中に設定画面を表示させるか、PBC 再生を解除してください（31 ページ）。

応用編　ディスクを再生する

ディスプレイユニットにて、DVDの情報を見るには

1. メイン　サブ　**メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. 表示切換 8　**再生中に、表示切換ボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

再生経過時間
↓
タイトルの残り時間
↓
チャプターの残り時間

ディスプレイユニットにて、DVD-Audioの情報を見るには

1. メイン　サブ　**メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. 表示切換 8　**再生中に、表示切換ボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

トラック経過時間
↓
トラックの残り時間
↓
グループの残り時間

ディスプレイユニットにて、ビデオCDの情報を見るには

1. メイン　サブ　**メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. 表示切換 8　**再生中に、表示切換ボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

再生経過時間
↓
ディスクの残り時間
↓
トラックの残り時間

注　意

◆ ビデオCDのPBC再生中は「PBC Play」と表示されます。ディスプレイユニットで表示したいときはPBC再生を解除してください（31ページ）。

ディスプレイユニットにて、SACDの情報を見るには

1. メイン　サブ　**メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. 表示切換 8　**再生中に、表示切換ボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

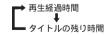
トラック経過時間
↓
トラックの残り時間
↓
ディスクの残り時間

ディスプレイユニットにて、DVD-RWの情報を見るには

1. メイン　サブ　**メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. 表示切換 8　**再生中に、表示切換ボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

再生経過時間
↓
タイトルの残り時間

ディスプレイユニットにて、CDの情報を見るには

1. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. 表示切換 8

再生中に、表示切換ボタンを押します

押すごとに、以下のように切り換わります。

トラック経過時間
↓
トラックの残り時間
↓
ディスクの残り時間

ディスプレイユニットにて、MP3の情報を見るには

1. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. 表示切換 8

再生中に、表示切換ボタンを押します

押すごとに、以下のように切り換わります。

トラック経過時間
↓
曲名（トラックネーム）
↓
フォルダー名
(フォルダーネーム)

サラウンド再生を楽しむ

本機では、お聴きになるソフトのジャンルに合わせて、以下の中から最適なサウンドを選択することができます。

- **オート （Auto） 2.1ch 5.1ch**
  CD などステレオで収録されている音声はステレオで、DVD などマルチチャンネルで収録されている音声は、6 本のすべてのスピーカーから音を出して再生します。

- **ドルビープロロジック（Dolby Pro Logic）5.1ch**
  従来のドルビープロロジックと同等の再生モードです。特にドルビーサラウンドエンコード作品をこのモードで視聴すると効果的です。

- **ドルビープロロジック II ムービー（Dolby Pro Logic II Movie）5.1ch**
  5.1ch 化します。映画再生に適したモードで、特にドルビーサラウンドエンコード作品をこのモードで視聴するとより効果的です。サラウンドｃｈへのダイアローグの漏れ込み（クロストーク）を聞こえにくくする処理などもあり、ドルビーデジタル 5.1 に迫るセパレーションや移動感などが得られます。

- **ドルビープロロジック II ミュージック（Dolby Pro Logic II Music）5.1ch**
  5.1ch化します。音楽再生に適したモードで、通常のステレオ録音されたソース（CD など）を再生するときに効果的です。サラウンドｃｈは定位よりも包囲感を重視しています。

- **ステレオ（Stereo） 2.1ch**
  あらゆる入力信号についてステレオ再生（左右 2 つのフロントスピーカーとサブウーファーのみによる再生）します。

お買い上げ時は、オート（Auto）に設定されています。

オート（ソフトに忠実な再生）

オート （Auto）

再生信号の音声フォーマットに合わせて、サラウンドモードを自動的に切り換えます。

- CD やビデオ CD、MP3 の再生時、ラジオ放送、テレビ入力やビデオ 1、2、3 のアナログ入力音声は、ステレオ（Stereo）になります。
- DVD の再生やビデオ 2、3 のデジタル入力音声は、記録された音声によって、ステレオとマルチチャンネル再生を自動で切り換えます。

1. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える

2. プログラム オート

オートボタンを押します

「オート」モードを解除するときは、サラウンドボタンかアドバンスドボタンを押して、お好みのモードを選んでください。

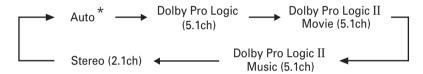
サラウンド

ステレオモードと各音声フォーマットに最適なサラウンドモードを切り換えることが出来ます。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

2. リピート サラウンド **サラウンドボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

■ 2チャンネル信号（PCM（CD音声）など）を再生している場合

* AUTOは、音声フォーマットに応じたサラウンドモードに、自動で切り換えます。

■ マルチチャンネル信号を再生している場合

* 各音声フォーマット(Dolby Digital/ DTS/ MPEG-2 AAC)に応じて、忠実にデコードして再生します。（AUTOも同じ効果になります。）また、ディスプレイユニットにはデコード名称が表示されます。
各音声フォーマットについては、111、112、116ページを参照してください。

メモ

▼ 各入力ごとに、それぞれ独立してサラウンドモードを設定することができます。
▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、ステレオ(Stereo)しか選択できません。
▼ DVD-Videoの96kHzリニアPCM信号、SACDまたはDVD-Audioディスクを再生しているときは、サラウンドを選択することはできません。

Q&A

Q ：サラウンドやセンタースピーカーから音が出ない！または、音が小さくて物足りない！

→ サラウンドボタン、またはアドバンスドボタンを押して、各モードをお試しください。
→ CHレベルボタンで、各スピーカーからの再生音を調整することができます。（92ページ）

パイオニアオリジナルのサラウンド効果

フロントスピーカーに加え、センタースピーカーやサラウンドスピーカーも使い、パイオニアオリジナルのサラウンド効果を加えて再生するときのリスニングモードです。(ヘッドホンを差している状態では、ヘッドホンサラウンド(Phones Surround)しか選択できません。)
MPEG-2 AAC信号または96kHz リニアPCM信号、SACDまたはDVD-Audioディスクを再生しているときは、パイオニアオリジナルのサラウンド効果を楽しむことはできません。

- **ミュージック(Advanced Music)** 5.1ch
  音楽再生に適したモードで、通常のステレオ録音されたソース(CDなど)に限らずドルビー、DTS エンコードされた音楽作品を再生する時にも効果的です。コンサートホールのような雰囲気を味わうことができます。

- **ムービー(Advanced Movie)** 5.1ch
  映画再生に適したモードです。特にドルビー、DTS エンコードの映画作品をこのモードで視聴するとより効果的で、映画館で映画を楽しんでいる雰囲気を味わうことができます。

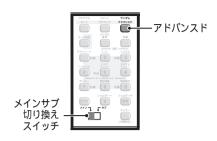
- **バーチャルサラウンドバック(Virtual Surround Back)** 5.1ch
  まるでサラウンドバックチャンネル(サラウンドチャンネルの後方中央)から音が出ているかのように出力します。6.1ch 再生のような効果を楽しむことができます。

- **エキスパンデッド(Expanded)** 5.1ch
  ドルビーサラウンドや2チャンネルで録音されているソースに対しては、5.1 c hサラウンドのような効果を実現します。また、ドルビーデジタルやDTS などの5.1chサラウンドソフトを再生しているときも、より拡がりのある音場を実現します。

- **TVサラウンド(TV Surround)** 5.1ch
  テレビ放送のほとんどの割合を占めるモノラル信号やステレオ信号もマルチチャンネルサラウンドで再生します。古い映画やスポーツ中継などのモノラル放送をマルチチャンネルサラウンドでお聴きになりたいときに効果的です。

- **バーチャル サラウンド(Virtual Surround)** 2.1ch
  マルチチャンネルサラウンド再生時の臨場感を2つのフロントスピーカーとサブウーファーでお楽しみ頂けます。

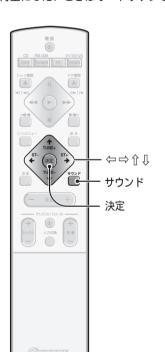
- **ヘッドホンサラウンド(Phones Surround)** 2 ch
  ヘッドホンで聴くときに、マルチチャンネルサラウンド再生時の臨場感をお楽しみ頂けます。

- **5 channel Stereo(5 ch Stereo)** 5.1ch
  標準のステレオ(2 チャンネル)音声を加工することなく、5.1 チャンネルにて再生しますので、部屋のどの場所にいてもステレオ感をお楽しみいただけます。

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える

2. アドバンスドボタンを押します

表示部に「Adv. Surr.」が点灯します。
押すごとに、以下のように切り換わります。

メ モ

▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、ヘッドホンサラウンド(Phones Surround)となります。
▼ MPEG-2 AAC信号が入力されると、自動的にオートに切り換わります。
▼ 2ch再生にしたいときはオートボタンを押してください。

パイオニアオリジナルのサラウンド効果レベルを調整する

バーチャル サラウンドバック（Virtual Surround Back）と5 ch Stereoが選択されているときは、サラウンド効果レベルを調整することはできません。

1. サウンドボタンを押します

2. ⇦ ⇨ を押して、"Effect" を選択します

3. ⇧ ⇩ で、効果レベルを調整してから決定ボタンを押します

現在設定されているサラウンド効果を、10から90までの範囲で調整することができます。

低音を強調して再生する

この機能を On にすると、低音だけを強調して再生させることができます。

2.1ch と 5.1ch の 2つのモードで設定することができます。

1. **サウンドボタンを押します**

サウンド

2. **⇦ ⇨ を押して、"P.BASS" を選択します**

ST– ST+

P . BASS

3. **⇧ ⇩ で、"On" か "Off" を選びます**

TUNE+ TUNE–

4. **決定ボタンを押します**

決定

メ モ

▼ ミッドナイトモードまたはマナーモードが選択されているときは、P.BASS を設定することができません。

注 意

◆ ヘッドホンプラグを差しているときは、P.BASS を設定することができません。

高音と低音を調整する

再生する曲の高音（Treble）と低音（Bass）の音質を、それぞれ調整することができます。

1. **サウンドボタンを押します**

サウンド

2. **⇦ ⇨ で "Bass" か "Treble" を選びます**

- 低音の音質を調整します

Bass

- 高音の音質を調整します

Treble

3. **⇧ ⇩ で音質のレベルを調整します**

調整範囲は、± 3 までです。

4. **決定ボタンを押します**

決定

注 意

◆ 再生しているソースが DVD-Video の 96 kHz PCM のときは、高音（Treble）と低音（Bass）の調整を行うことはできません。

◆ 再生しているソースが DVD-Audio、SACD または MPEG-2 AAC のときはフロントチャンネルとサブウーファーのみ、高音（Treble）と低音（Bass）の調整を行います。

◆ ミッドナイトモードまたはマナーモードが選択されているときは高音（Treble）と低音（Bass）の調整を行うことはできません。

小さい音でサラウンドを楽しむ

・ **ミッドナイト**
音量を小さくすると、サラウンドサウンドが弱くなったり、微小な音が聴きにくくなることがあります。この機能をオンにしますと、音量を小さくしても、ほどよい臨場感と高域のクリア感を確保することができるモードです。これにより、夜間に音量を小さくして映画を楽しむ場合でも、ほどよい迫力とクリア感により、聞きやすくなります。

・ **マナー**
夜間に音楽や映画を楽しむとき、小音量で再生している場合でも、突然の爆発音などで低音が大きく出ることがあり、隣室などへ音もれといった迷惑をかけることがあります。この機能は、セリフ帯域の音量感をあまり下げることなく、低域と一部高域の音量感をダウンさせることで、隣室などへ音もれといった迷惑を防止するモードです。小音量で他人に迷惑をかけないで、自分の世界を楽しむことができます。

1. サウンド

サウンドボタンを押します

2.

⇦ ⇨ で"Manner/Midnight"を選びます

Manner/Midnight

3.

⇧ ⇩ で "Midnight Mode" か "Manner Mode" を選びます

- 通常の音質（お買い上げ時の設定）

Off

- マナーがオンの設定

Manner Mode

- ミッドナイトがオンの設定

Midnight Mode

4.

決定ボタンを押します

手順 3 で選んだモードが設定されます。

注 意

◆ マナーモードまたはミッドナイトモードのときは、P.BASS の設定や高音（Treble）と低音（Bass）の調整を使用することはできません。
◆ 再生しているソースが DVD-Audio、SACD または MPEG-2 AAC のときはマナーモードまたはミッドナイトモードにすることはできません。

決めた時刻に再生する（目覚ましタイマー）

応用編

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。
例えば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）午前7時40分に再生がスタートし、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

1. 再生させたい機器の準備をします

ラジオ放送で目覚めるには....

FM/AM TUNER

FM/AMボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

CDやMP3、DVDで目覚めるには....

CD DVD

ディスクをセットし、DVD/CDボタンを押します。

テレビで目覚めるには....

TV

TVボタンを押して、接続したテレビの準備しておきます。

外部機器で目覚めるには....

V1/V2/V3 VIDEO

VIDEOボタンを押して、Video1、2、3のいずれかを選択した後、外部機器の再生を準備しておきます。

2. 音量の調整を行ないます

設定した音量でタイマーがオンします。

－ 音量 ＋

3. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える

メイン サブ

4. タイマーボタンを押します

タイマー（時間設定）

5. ⇦ ⇨ で "Wake-Up" を選んでから、決定ボタンを押します

ST－ 決定 ST＋

Wake－Up

6. ⇧ ⇩ で " Timer Edit"を選んでから、決定ボタンを押します

TUNE＋ 決定 TUNE－

Timer Edit

7. ⇧ ⇩ で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

TUNE＋ 決定 TUNE－

例の場合は、"7：" にします。

on 7 : 00 AM

8. ⇧ ⇩ で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

再生開始時刻が設定されます。

例の場合は、"：40" にします。

on 7 : 40 AM

9. ⇧ ⇩ で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、8 am にします。

off 8 : 40 AM

タイマー

10. **⇧⇩で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、15 にします

off 8 : 15 AM

決定ボタンを押すと、設定内容を表示した後、◷ ☀ が点灯します。

11. **電源ボタンを押して電源をオフにします**

電源

本体のタイマーインジケーターが点灯し、◷ ☀ が消灯します。

途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します

再度、目覚ましタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定を解除 / 再設定するには

1. 電源 **電源ボタンを押して電源をオンにします**

2. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

3. タイマー（時間設定） **タイマーボタンを押します**

4. **⇦⇨で"Wake-Up"を選んでから、決定ボタンを押します**

Wake–Up

5. **⇧⇩で"Timer Off" にします**

目覚ましタイマーが解除されます。

Timer Off

再び同じ内容で設定する場合は、⇧⇩で"Timer On" にします

Timer On

6. 決定 **決定ボタンを押します**

メ モ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。
▼ スタンバイ時にタイマーボタンを押すことでセットしたタイマーの内容を確認することができます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定ができません。（25 ページ）
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示は点滅して動作しません。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。
◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、目覚ましタイマーは動作しません。

決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー）

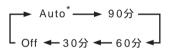
設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったりするときに便利です。
設定できる時間は、90 分、60 分、30 分の 3 種類と、スリープオートです。

1. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

2. **タイマーボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で "Sleep Timer "を選びます**

Sleep Timer

4. **⇧ ⇩ で終了するまでの時間を設定します**

* **スリープオート（AUTO）**
CD、MP3、SACDの再生中またはVIDEO CD で PBC をオフで再生中に選ぶことができます。
再生が終了して本機が停止してから約 1 分後に自動的に電源が切れます。

5. **決定ボタンを押します**

スリープタイマーを設定すると、表示部の ☾ が点灯します。

注 意

- ◆ スリープ動作中の表示部の明るさは、DIMMER LEVEL 2 を 20 秒表示した後、DIMMER LEVEL 1 になります（101 ページ）。
- ◆ 目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
- ◆ スリープオートはリピートを設定していると選択することができません。
- ◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
例えば、夜はCD を聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFM で目覚めるといったことができます。

画質を調整する

メモ

よく使うボタン

	設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

あらかじめ設定されている画質を選択する

お使いのモニターの種類（テレビやプラズマディスプレイなど）に合わせた画質を選択することができます。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. DVD 2 **DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**

3. **[画質調整]を選択して決定します**

TUNE+ ST− 決定 ST+ TUNE−

4. **[テレビ(CRT)]、[プラズマ]または[プロフェッショナル]のいずれかを選択して決定します**

ST− 決定 ST+

画質調整画面が消えます。

テレビ(CRT)
テレビ(CRT)モニターに適した画質です。

プラズマ
プラズマディスプレイに適した画質です。

プロフェッショナル(出荷時の設定)
プロ用モニターに適した設定で、本機による映像信号調整処理を抑えた画質です。

メモリー 1/ メモリー 2/ メモリー 3
好みに調整した画質設定を記憶させることができます。次ページの「好みの画質に調整する」をご覧ください。

好みの画質に調整する

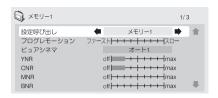
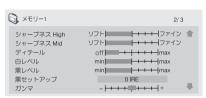
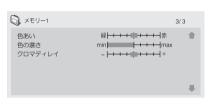
1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. DVD 2 **DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**

3. **[画質調整]を選択して決定します**

4. **[メモリー 1]、[メモリー 2]または[メモリー 3]を選択します**

5. **⇩を押して[詳細設定]を選択して決定します**

6. **⇧ ⇩で項目を選択して ⇦ ⇨で各項目の調整や選択をします**

表示切換ボタンを押すと、項目が1行表示になります。押すたびに全画面表示と一行表示が切り換わります。
各項目についての詳細は以下の通りです。

設定呼び出し
[メモリー1]、[メモリー2]、[メモリー3]、[テレビ（CRT)]、[プラズマ]、[プロフェッショナル]に設定されている画質を呼び出します。

プログレモーション
プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定です。動画向き、または静止画向きの映像に調整します。プログレッシブが出力されているときのみ調整することができます。

ピュアシネマ
プログレッシブスキャン回路とDNRの動作をフィルム素材のDVDの再生に最適な設定にします。通常は[オート 1]に設定しますが、映像が不自然なときは[オート 2]、[オン]、または[オフ]にします。右記の「ピュアシネマモードについて」をご覧ください。

YNR
輝度(Y)信号のノイズを軽減します。

CNR
色(C)信号のノイズを軽減します。

MNR
映像のモスキートノイズ(MPEG圧縮時に映像の輪郭部物に発生するノイズ)を軽減します。
BNR
映像のブロックノイズを軽減します。
シャープネス High
高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。
シャープネス Mid
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。
ディテール
画像の輪郭を強調します。
白レベル
白色のレベルを調整します。
黒レベル
黒色のレベルを調整します。
黒セットアップ
黒色の浮きを補正し、立体感のある引き締まった映像を再現します。
ガンマ
画像の暗い部分の見えかたを強調します。
色あい
緑色と赤色のバランスを調整します。
色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
クロマディレイ
映像の輝度(Y)信号と色(C)信号のずれを調整します。この機能はプログレッシブ映像のときのみ有効です。

7. 手順 6 を繰り返して、すべての項目を調整して、決定する

- すでに画質設定が記憶されているときは新しく設定した内容が上書きされます。
- 設定終了後は、必ず決定ボタンを押してください。設定した内容が記憶されません。

メ モ

▼ ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。

ピュアシネマモードについて

DVD ビデオの映像信号には次の 2 種類があります。

- **「ビデオ素材」**といわれる映像情報を 30 コマ / 秒で記録した信号
- **「フィルム素材」**といわれる映像情報を 24 コマ / 秒で記録した信号

「フィルム素材」である映画フィルムは 24 コマ / 秒(24Hz)で記録されており、この**「ピュアシネマ」**モードは、そのような 24 コマ / 秒で記録された映像情報を 60 コマ / 秒のプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。
この設定は通常**[オート1]**でお楽しみください。ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりすることがあります。そのようなときは設定を**[オート 2]**、**[オフ]**、または**[オン]**に切り換えてご覧ください。
「フィルム素材」の(24 コマ / 秒で記録された) DVD ビデオが再生されているときは、それをディスクの情報画面で確認することができます。ディスクの情報画面を表示するには、**表示切換ボタン**を押します。詳しくは 54 ページをご覧ください。

また、**「ビデオ素材」**で**[オン]**を選択すると奇数フィールドと偶数フィールドを合成し、1 枚のフレーム情報としてプログレッシブ変換します。比較的動きの少ない**「ビデオ素材」**や 30P(プログレッシブ)記録された**「ビデオ素材」**の再生に適しています。輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりするときは**[オート 1]**、**[オート 2]**、または**[オフ]**に切り換えてご覧ください。

デジタル音声出力の設定を変更する

メモ

よく使うボタン

DVD 設定 2	設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

本機を外部機器と光デジタル接続するときに必要な設定です。ここでの設定は本システムのスピーカー出力に対しても有効になります。

メ モ

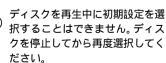
▼ DVD-Audio や SACD は光デジタル出力しません。

接続する外部機器がドルビーデジタルに対応しているとき

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. DVD 2 **DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**

3. **[初期設定]を選択して決定します**

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4. **[デジタル音声出力]を選択して、カーソルを右へ移動します**

5. **[□□ Digital 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します**

□□ Digital(お買い上げ時の設定)
ドルビーデジタル対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

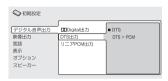
□□ Digital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していない機器と接続したときに選択します。

注 意

◆ □□ Digital > PCM を選択すると、本システムのスピーカー出力もドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。

接続する外部機器が DTS に対応しているとき

はじめから操作する場合は、70ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[DTS 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

DTS(お買い上げ時の設定)

DTS 対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

DTS > PCM

DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。DTS に対応していない機器と接続したときに選択します。

注 意

◆ DTS > PCM を選択すると、本システムのスピーカー出力も DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。

◆ DTS に対応していない外部機器に接続しているときに[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。

◆ DTS CDでは、設定に関わらず常にDTS信号が出力されます。

接続している外部機器がリニア PCM に対応しているとき

はじめから操作する場合は、70ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[リニア PCM 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

ダウンサンプルオン

96kHz の信号を 48kHz に変換して出力します。96kHz に対応していない機器と接続したときに選択します。

ダウンサンプルオフ(お買い上げ時の設定)

96kHz対応機器またはデコーダーと接続したときに選択します。

メ モ

▼ DVD-Videoのディスクによっては、**[ダウンサンプルオフ]**を選択しているとデジタル出力されないことがあります。

注 意

◆ ダウンサンプルオンを選択すると、本システムのスピーカー出力も 96kHz の信号を 48kHz に変換して出力します。

映像出力の設定を変更する

メモ

よく使うボタン

ボタン	説明
設定 DVD 2	設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
戻る	一つ前の画面に戻る。

接続したテレビのサイズは、
ワイドサイズ(16:9)ですか?
従来サイズ(4:3)ですか?

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

メイン　サブ

2. DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

DVD 2

3. [初期設定]を選択して決定します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4. [映像出力]を選択して、カーソルを右へ移動します

5. [テレビ画面]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

4:3(レターボックス)
従来サイズのテレビと接続して、レターボックス方式(次ページ)で見たいときに選択します。

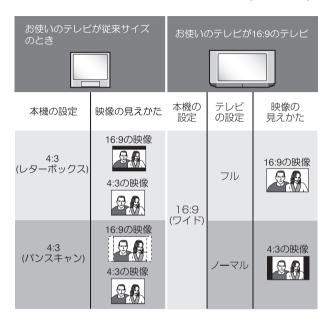
4:3(パンスキャン)
従来サイズのテレビと接続して、パンスキャン方式(次ページ)で見たいときに選択します。この設定はディスクが対応していないとできません。

16:9(ワイド)(お買い上げ時の設定)
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。

16:9(シュリンク)
接続しているプログレッシブ対応テレビでアスペクトの切り換えができないとき選択します(4:3の映像が横長(16:9の映像)になってしまっているが、テレビ側で4:3の映像に切り換えることができないとき)。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は・・・

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の[テレビ画面]の設定をしてください。

お使いのテレビが従来サイズのとき		お使いのテレビが16:9のテレビ		
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像 4:3の映像	16:9 (ワイド)	フル	16:9の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像 4:3の映像		ノーマル	4:3の映像

プログレッシブ対応テレビ側でアスペクトの切り換えができないとき16:9(シュリンク)を選択します。

お使いのテレビが16:9のテレビ	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
	16:9(シュリンク) ※プログレッシブ出力にのみ有効	フル	4:3の映像

メ モ

▼ 画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

映像の出力方式をプログレッシブ出力に切り換えるとき

はじめから操作する場合は、72ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[D2 映像出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
スピーカー
テレビ画面
D2映像出力
S映像出力
ポーズモード
プログレッシブ
■ インターレース

プログレッシブ
きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力に対応しているテレビ、またはプロジェクターのときに選択します。

インターレース(お買い上げ時の設定)
プログレッシブ入力に対応していないテレビ、またはプロジェクターのときに選択します。

メ モ

▼ **[プログレッシブ]**を選択するときはD2映像出力端子でテレビと接続してください。(103 ページ)

S 映像端子から出力される映像信号を S1 に切り換えるとき

はじめから操作する場合は、72ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[S 映像出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

S1
S1 映像信号が出力されます。

S2(お買い上げ時の設定)
S2 映像信号が出力されます。

注 意

◆ 本機とテレビを S 映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは**[S1]**を選択してください。

DVD を一時停止しているときの画像のブレをなくしたいとき(ポーズモード)

はじめから操作する場合は、72ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[ポーズモード]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

フィールド
一時停止中の画像のブレをなくして、画質を鮮明にします。

フレーム
通常モードです。

自動(お買い上げ時の設定)
[フィールド]と**[フレーム]**を自動的に切り換えます。

メ モ

▼ [フィールド]を選択しても画質が鮮明にならないディスクもあります。

言語の設定を変更する

メモ

よく使うボタン

ボタン	説明
DVD 2 設定	設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

音声言語を変更する

1. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. DVD 2

DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

3.

[初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4.

[言語]を選択して、カーソルを右へ移動します

5.

[音声言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

日本語(お買い上げ時の設定)

音声言語が日本語になります。

英語

音声言語が英語になります。

その他の言語

136 言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは77ページの「字幕言語/音声言語/DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき」をご覧ください。

メ モ

▼ ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。

▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの **DVD メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。

字幕言語を変更する

はじめから操作する場合は、75ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[字幕言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

日本語(お買い上げ時の設定)

日本語の字幕を表示します。

英語

英語の字幕を表示します。

その他の言語

136 言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは77ページの「字幕言語/音声言語/DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき」をご覧ください。

音声や字幕を初期設定で設定した言語にする（自動言語設定）

はじめから操作する場合は、75ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[自動言語設定]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

[音声言語]と**[字幕言語]**で選択されている言語が同じとき、および**[字幕表示]**が**[オン]**のとき有効となります。一般的に洋画 DVD ビデオでは、音声がオリジナル言語、字幕が日本語に選択されます。また、邦画 DVD ビデオは、音声が日本語、字幕がオフに選択されます。ただし、このように動作しないディスクもあります。

オフ

再生中の音声の自動言語設定が解除されます。音声が**[音声言語]**、字幕が**[字幕言語]**で選択されている言語になります。

メ モ

▼ 字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

▼ ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンのDVD メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。

DVD のメニューに表示する言語を変更する(DVD メニュー言語)

はじめから操作する場合は、75ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[DVD メニュー言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

字幕言語に連動(お買い上げ時の設定)

[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語

日本語でメニュー画面が表示されます。

英語

英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語

136 言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは本ページの「字幕言語 / 音声言語 / DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき」をご覧ください。

字幕言語 / 音声言語 /DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき

125ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [その他の言語]を選んでから、決定ボタンを押します

例）DVD メニュー言語の場合

2. [言語表]、または[コード]を選んでから、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(125 ページ)をご覧ください。

[言語表]で言語を選ぶとき

例えばフランス語を選ぶ場合は、⇧を 2 回押します。

[コード]で言語を選ぶとき

下記のいずれかの操作をします。

例えばフランス語を選ぶ場合は、

- 数字ボタンの 0、6、1、8 を押します。
- 1ケタごとに⇧⇩で数字を選択します(⇦⇨でケタを移動します。)

字幕を表示しないようにするには(字幕表示)

はじめから操作する場合は、75ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[字幕表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

字幕を表示します。

オフ

字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります。

アシスト字幕

アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕がディスクに収録されていないときは表示されません(アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況などを説明する字幕です)。

表示の設定を変更したいとき

メモ

よく使うボタン

ボタン	説明
DVD 2 設定	設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

画面に表示される言語を英語にする（画面表示言語）

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. DVD 2

DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

3.

[初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4.

[表示]を選択して、カーソルを右へ移動します

5.

[画面表示言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

日本語(お買い上げ時の設定)

画面に表示される言語が日本語になります。

English

画面に表示される言語が英語になります。

応用編

設定をする

画面に操作表示([再生]、[停止]など)を出さないようにする(画面表示)

はじめから操作する場合は、79ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[画面表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)
画面に操作表示をします。

オフ
画面に操作表示をしません。

アングルマーク( )を表示しないようにする(アングルマーク表示)

はじめから操作する場合は、79ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[アングルマーク表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)
画面に マークを表示します。

オフ
画面に マークを表示しません。

停止中の画面の背景にパイオニアロゴを使用する(背景)

はじめから操作する場合は、79ページの手順1から 4 の操作をしてください。

[背景]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

パイオニアロゴ
パイオニアロゴを背景に表示します。

黒(お買い上げ時の設定)
黒色の背景を表示します。

スクリーンセーバー機能をオンにする

はじめから操作する場合は、79ページの手順1から 4 の操作をしてください。

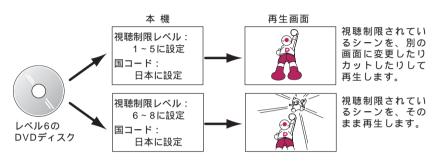
[スクリーンセーバー]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン
約 5 分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。この機能は、長時間同じ画面が表示されたときに起きる画像の焼き付き(残像現象)を防ぎます。

オフ(お買い上げ時の設定)
スクリーンセーバー機能が働きません。

オプションの設定

視聴制限を設定する

暴力シーンなどを含む DVD-Video には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 5 に設定しておくと、レベル 6 のディスクを再生することはできません。レベル 6 のディスクを再生するにはあらかじめレベルを6以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。

*** 国コードについて**
国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。

一般的な視聴制限レベルの設定（各レベルと再生できる内容について）

レベル	再生内容	
レベル1に設定すると	子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。	レベル 1 のディスクは、大人から子供まで誰でも楽しめる内容。
レベル2〜3に設定すると	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R 指定）ディスクは再生できません。	
レベル4〜7に設定すると	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。	レベル 4 〜 7 のディスクは中学生以下が見ることができない内容。
レベル8に設定すると	すべてのディスクを制限無しで再生することができます。	レベル 8 のディスクは成人しか見ることのできない内容。
「オフ」に設定すると	視聴制限レベルを「切」にします。	

暗証番号を登録するには･･･

本機で設定した視聴制限レベルを容易に変更できないようにするため､暗証番号を設定します。暗証番号は次のようなときに必要となります。

- 本機で設定した視聴制限レベルを変更するとき
- ディスクを再生中に視聴制限が働いたとき（視聴制限レベル一時変更）

1. **[オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選んでから、決定ボタンを押します**

2. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

3. **数字(0 ～ 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します**

初期設定を終了するには､メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えた後、**DVD 設定ボタン**を押します。

視聴制限できる DVD を再生するには･･･

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。

1. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

2. **数字(0 ～ 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します**

メ モ

▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。

▼ 暗証番号を忘れてしまったときは､お買い上げ時の設定に戻して、再度設定してください。（127 ページ）

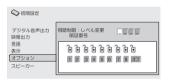
▼ ディスクによっては､視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります｡詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

本機のレベルを設定するには･･･

1. **[レベル変更]を選んでから、決定ボタンを押します**

2. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

メイン サブ

3. **数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します**

4. **レベルを選んでから、決定ボタンを押します**

初期設定を終了するには､メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えた後、**DVD 設定ボタン**を押します。

暗証番号を変更するには･･･

1. **[暗証番号変更]を選んでから、決定ボタンを押します**

2. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

メイン サブ

3. **数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します**

4. **数字(0 ～ 9)ボタンで新しい暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します**

初期設定を終了するには､メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えた後、**DVD 設定ボタン**を押します。

国コードを変更するには･･･

125 ページの国コード表を見ながら操作します。

1. [国コード]を選んでから、決定ボタンを押します

2. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える

3. 数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

4. 数字(0 ～ 9)ボタンで[コード]、または ⇧⇩ で[国コード表]を入力してから、決定ボタンを押します

[国コード表]で変更するとき

例えば日本を選ぶ場合は、⇧⇩ で[jp]を選択します。

[コード]で変更するとき

下記のいずれかの操作をします。

例えば日本を選ぶ場合は、

- 数字ボタンの 1、0、1、6 を押します。（125 ページの国コード表参照）
- 1ケタごとに⇧ ⇩ で数字を選択します(⇦⇨ でケタを移動します。)

5. 本体の TRAY OPEN/CLOSE ボタンを押して、ディスクを取り出します

国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

DVD オーディオのボーナスグループを再生する(ボーナスグループ)

DVD オーディオには、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4 桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されますが、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。

1. [ボーナスグループ]を選択してから、決定ボタンを押します

2. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える

3. 数字(0 ～ 9)ボタンでキーナンバーを入力してから、決定ボタンを押します

初期設定を終了するには、メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えた後、**DVD 設定ボタン**を押します。

メ モ

▼ ディスクを取り出す、または電源を切ると、入力されたキーナンバーの記憶が消去されます。ボーナスグループを再生するときはもう一度キーナンバーを入力してください。

ディスクをセットした後、自動的にメニュー画面を表示しないようにする(オートディスクメニュー)

[オートディスクメニュー]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

ディスクをセットするとメニュー画面が自動的に表示されます。

オフ

ディスクをセットしてもメニュー画面が表示されません。

応用編

設定をする

DVDオーディオのすべてのグループを続けて再生する(グループ再生)

[グループ再生]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

連続
すべてのグループを続けて再生します。

単独 (お買い上げ時の設定)
選択したグループのみ再生します。

メ モ

- ▼ ディスクのメニュー画面からも再生したいグループだけを選択することができます。
- ▼ **[単独]**を選択しているとき、ディスクのメニュー画面からすべてのグループを再生する項目を選択しても、1つのグループのみを再生することがあります。
- ▼ **[グループ再生]**の設定で**[単独]**を選択しているとき、◀◀ ▶▶ ボタン、または |◀◀ ▶▶| ボタンを使って、他のグループをまたいで早戻し/早送り、または頭出しすることはできません。グループサーチでグループを選択してください(49ページ)。
- ▼ **[連続]**を選択していても、ディスクのメニュー画面から再生を始めたときは、すべてのグループを再生することができません。このようなときは、ディスクを停止してから再生を始めてください。

DVDオーディオをDVDビデオとして再生する(DVD再生方式)

[DVD再生方式]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

DVDオーディオ(お買い上げ時の設定)
本機をDVDオーディオプレーヤーとしてお使いになるときに選択します。

DVDビデオ
本機をDVDビデオ専用プレーヤーとしてお使いになるときに選択します。

メ モ

- ▼ **[DVDビデオ]**を選択していても、以下の操作を行うと**[DVDオーディオ]**に戻ります。
  - ・本体のTRAY OPEN/CLOSEボタンを押す。
  - ・DVD以外の入力にする。
  - ・電源を切る。

SACD のマルチチャンネルエリアまたはCD チャンネルエリアを再生する(SACD 再生)

SACDは、2 チャンネルと 5.1 チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACD は SACD 層と CD 層の 2 層構造になっています。ここではSACDの再生するエリアを切り換えます。

[SACD 再生]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

2ch エリア (お買い上げ時の設定)
2 チャンネルエリアを再生します。

マルチ ch エリア
マルチチャンネルエリアを再生します。

CD エリア
CD 層を再生します。

メ モ

▼ 5.1chの SACD をマルチチャンネルで再生するときは[**マルチ chエリア**]に設定してください。

DTS CDを再生する(CD再生設定)

この設定はビデオ 1 音声出力に対する設定です。本システムのスピーカーからはこの設定によらず最適な状態で音声が出力されます。

[CD 再生設定]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

PCM 再生 (お買い上げ時の設定)
一般の音楽 CD を聴くときに設定します。

DTS CD 再生
DTS CD を聴くときに設定します。

注 意

◆ [**DTS CD 再生**]に設定して一般の音楽 CD を聴くと、ビデオ1音声出力端子からは音が出ません。
◆ [**PCM 再生**]に設定して DTS CD を再生すると、最初にノイズが出ることがあります。

スピーカーの設定を変更したいとき

メモ

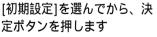
よく使うボタン

DVD 設定 2	設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

リスニングポジションから スピーカーまでの距離を設定 するには(スピーカー距離補正)

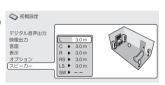
1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. **DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます**

3. **[初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します**

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4. **[スピーカー]を選択して、カーソルを右へ移動させてから[スピーカー距離補正]を選んで決定ボタンを押します**

5. **補正したいスピーカーを ⇧ ⇩ で選択してカーソルを右へ移動させます**

6. **距離を ⇧ ⇩ で設定してからカーソルを左へ移動させます**

以下のチャンネルを 0.3m から 9.0m の範囲内で 0.3m ごとに調整することができます。

- **L/R（フロント左 / 右）**
- **C（センター）**
- **LS/RS（サラウンド左 / 右）**

サブウーファーを調整することはできません。

7. **手順 5 から 6 を繰り返して各スピーカーの距離を補正します**

8. **決定ボタンを押します**

[スピーカー距離補正]の画面が消えます。

メ モ

▼ 5.1チャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム(遅延時間)を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。

▼ SACD を再生するときは距離の設定が無効になります。

スピーカーの出力レベルを自動調整する（チャンネルレベル）

あるスピーカーからの音のみを大きくしたり小さくしたいときに、そのチャンネルのレベルを調整することができます。ここで調整を行った後にルーム設定（9 ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。

ここでの設定は91 ページの「スピーカーの出力レベルを調整する」と同じものです。

ここでは、自動で流れるテストトーンを聞きながらGUI画面を見て各スピーカーの出力レベルを設定します。

この調整を行う場合はまずサラウンドモードをAutoかStereo以外にしてください（詳しくは58 ～ 59 ページをご覧ください）。

はじめから操作する場合は、88ページの手順1から 3 の操作をしてください。

1. [スピーカー]を選択して、カーソルを右へ移動させてから[チャンネルレベル]を選んで決定ボタンを押します

2. [L]を選択して、カーソルを上へ移動させます

- 自動的にテストトーンを開始します。
- L → C → R → RS → LS → SW の順で出力されます。

3. テストトーンが出力されているスピーカーのレベルを調整します

出力レベルは－ 10dB から＋ 10dB の範囲内で 1dBごとに調整することができます。

4. 手順 3 を繰り返して各スピーカーのレベルを調整する

5. 決定ボタンを押します

決定

[チャンネルレベル]の画面が消えます。

メ モ

▼ 以下の場合はテストトーンが出ません。
- 消音ボタンを押して Muting にしているとき。
- ヘッドホンを挿入しているとき。
- マナーモードを選択しているとき。

スピーカーの出力レベルを手動調整する（マニュアルチャンネルレベル）

はじめから操作する場合は、88ページの手順1から 3 の操作をしてください。

1. **[スピーカー]を選択して、カーソルを右へ移動させてから[チャンネルレベル]を選んで決定ボタンを押します**

2. **調整したいスピーカーを ⇧ ⇩ で選択して、カーソルを右へ移動させます**

3. **スピーカーのレベルを ⇧ ⇩ で調整して、カーソルを左へ戻します**

出力レベルは－ 10dB から＋10dB の範囲内で 1dB ごとに調整することができます。

4. **手順 2 から 3 を繰り返して各スピーカーのレベルを調整する**

5. **決定ボタンを押します**

[チャンネルレベル]の画面が消えます。

メ モ

▼ 音声を聞きながらチャンネルレベルを調整したいときは92ページの「再生しているディスクで調整するには」をご覧ください。

スピーカーの出力レベルを調整する

あるスピーカーからの音のみを大きくしたり小さくしたいときに、そのチャンネルのレベルを調整することができます。ここで調整を行った後にルーム設定（9 ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。
ここでの設定は 89 ページの「スピーカーの出力レベルを自動調整する（チャンネルレベル）」と同じものですが、ここではGUI画面を使わずに調整することができます。

テストトーンで調整するには

1. **あらかじめ、お好みの音量に調整しておきます**

2. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

3. リピート サラウンド **サラウンドボタンを押してAuto か Stereo 以外のサラウンドモードを選択します**

4. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

5. テストトーン 1 **テストトーンボタンを押します**

以下の順番で、各スピーカーのテストトーン（ザーという音）が、自動的に切り換わって出力されます。

サブウーファーのテストトーンは、周波数が低いので実際のレベルより小さく聞こえます。
サラウンドモードが Auto または Stereo のときはディスプレイに Can't Use と表示されテストトーンは出力されません。

6. TUNE+ TUNE− **⇧⇩ で、テストトーンが出力されているスピーカーの出力レベルを調整します**

各スピーカーからの音が同じ大きさに聞こえるように調整してください。チャンネルレベルは－10dB から＋10dB の範囲内で 1dB ごとに調整することができます。

7. 決定 **すべてのスピーカーの調整が終了したら、決定ボタンを押します**

テストトーンが止まり、出力レベル調整を終了します。

メ モ

▼ サブウーファーの調整は音楽や映画ソースなどを実際に使って適切な値に調整してください。
▼ 以下の場合はテストトーンが出ません。
・消音ボタンを押して Muting にしているとき。
・ヘッドホンを挿入しているとき。
・マナーモードを選択しているとき。

注 意

◆ この設定は、ヘッドホン出力には反映されません。

再生しているディスクで調整するには

1. **お好みのディスクを再生します**

2. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

3. CHレベル 4 **CH レベルボタンを押します**

4. **⇦ ⇨ で、出力レベルを調整するスピーカーを選びます**

ST− ST+

フロント左(L)
↓
センター(C)
↓
フロント右(R)
↓
サラウンド右(RS)
↓
サラウンド左(LS)
↓
サブウーファー(SW)

5. **⇧ ⇩ で、スピーカーの出力レベルを調整します**

チャンネルレベルはー 10dB から＋10dB の範囲内で 1dB ごとに調整することができます。

6. **手順 4 から 5 を繰り返して各スピーカーのレベルを調整する**

7. 決定 **決定ボタンを押します**

メ モ

- ▼ サブウーファーのテストトーンは、周波数が低いので実際のレベルより小さく聞こえます。
- ▼ サブウーファーの調整は音楽や映画ソースなどを実際に使って適切な値に調整してください。
- ▼ 再生しているディスクで調整する場合、サラウンドモードにて設定した出力レベルは、すべてのサラウンドモードに対して設定されます。
- ▼ 再生しているディスクで調整する場合、サラウンドボタンでステレオを選択するか、Auto で 2.1 チャンネル音声の再生中は、フロントスピーカー L/R とサブウーファーだけを調整することができます。
- ▼ ヘッドホンを挿入しているときはフロント L/R のみ調整することができます。

サラウンドに関する設定

フロントスピーカーまでの距離の設定 （95 ページ）

視聴位置からフロントスピーカーまでの距離を設定します。
それぞれのスピーカーまでの距離を入力することによって、その差により生じる音のタイミングのズレが自動的に補正され、視聴位置で適切な音場効果を得ることができます。

・ この設定後に「ルーム設定」（9 ページ）を行うと、ここでの設定よりも選択したルームタイプの設定値が優先されます。

センタースピーカーまでの距離の設定 （96 ページ）

視聴位置からセンタースピーカーまでの距離を設定します。
それぞれのスピーカーまでの距離を入力することによって、その差により生じる音のタイミングのズレが自動的に補正され、視聴位置で適切な音場効果を得ることができます。

・ この設定後に「ルーム設定」（9 ページ）を行うと、ここでの設定よりも選択したルームタイプの設定値が優先されます。

サラウンドスピーカーまでの距離の設定 （96 ページ）

視聴位置からサラウンドスピーカーまでの距離を設定します。
それぞれのスピーカーまでの距離を入力することによって、その差により生じる音のタイミングのズレが自動的に補正され、視聴位置で適切な音場効果を得ることができます。

・ この設定後に「ルーム設定」（9 ページ）を行うと、ここでの設定よりも選択したルームタイプの設定値が優先されます。

ダイナミックレンジコントロールの設定 （97 ページ）

ダイナミックレンジとは再生能力を表す用語で、どのくらい小さな音からどのくらい大きな音までをきちんと（小さな音はノイズに埋もれずに、大きな音は歪まずに）再生できるかを数値（dB）で表わしたものです。ダイナミックレンジコントロールとは、このダイナッミックレンジを圧縮する機能です。音量を下げて映画を楽しむときなどは、ダイナミックレンジを圧縮すると微小な音も聞きやすくなり、映画をより一層楽しむことができます。

Off ： ダイナミックレンジを圧縮せずにソフトに収録されたまま再生します。（お買い上げ時の設定）
Medium ： ダイナミックレンジを少し圧縮します。
High ： ダイナミックレンジを最も圧縮します。

・ この機能の効果が得られるのは、ダイナミックレンジコントロール対応のドルビーデジタルソフトだけですが、他のソフトを小音量で楽しむときにはミッドナイトモード（63 ページ）が効果的です。

デュアルモノの設定 （97 ページ）

1+1デュアルモノラル信号とは、モノラルの音声チャンネルを2つもつデジタル信号のことで、ここではデュアルモノラル信号が入力されたときにどちらの音声をどのスピーカーから出力するかを設定します。この設定は例えば以下のような 1+1 デュアルモノラルフォーマットのソースにのみ有効です。

- BSデジタル放送のモノラルの二か国語放送や音声多重放送などステレオの二か国語放送などはデュアルモノラルとは異なるフォーマットになります。
- 2か国語放送などをDVDレコーダーのデュアルモノラルモードで録画したもの録画モードの名称は機器によって異なります。（詳しくは DVD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

L-ch1/R-ch2 ：チャンネル 1 の音声を左の（フロント）スピーカーから、チャンネル 2 の音声を右の（フロント）スピーカーから出力する場合。（お買い上げ時の設定）

Ch1 Mono ：チャンネル 1 の音声のみをセンタースピーカーから出力する場合。（サラウンドボタンで Stereoを選択しているときは左右の（フロント）スピーカーからチャンネル 1 の音声が出力されます）

Ch2 Mono ：チャンネル 2 の音声のみをセンタースピーカーから出力する場合。（サラウンドボタンで Stereoを選択しているときは左右の（フロント）スピーカーからチャンネル 2 の音声が出力されます）

LFE アッテネータの設定 （98 ページ）

ドルビーデジタル信号や DTS 信号に含まれる LFE 成分（超低域信号成分）の信号レベルが大きすぎて、スピーカーから出る音に歪みが生じてしまう場合に、その信号レベルをアッテネート（減衰）する量を設定することができます。

0 dB ： 収録されているレベルのまま再生します。（お買い上げ時の設定）

–10 dB ： レベルを 10dB アッテネート（減衰）します。

LFE Off ： LFE 成分の音が出なくなります。

フロントスピーカーまでの距離の設定

ここで設定を行った後にルーム設定（9ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順 3 から始めます。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、フロントスピーカーまでの距離の設定モードを選びます**

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

Speaker L/R

4. **⇧ ⇩ で、フロントスピーカーまでの距離を設定します**

0.3～9mの間を 0.3m間隔で設定できます。

Distance　1.8 m

4. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順 3 から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

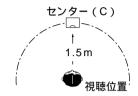
▼ フロントスピーカーまでの距離を設定すると、自動的にサブウーファーまでの距離もフロントスピーカーと同じ距離に設定されますので、サブウーファーとフロントスピーカーは視聴位置からほぼ同じ距離になるように設置してください（サブウーファーまでの距離の設定はありません）。

各項目についての詳しい説明は93 ページから94 ページをご覧ください。

応用編

設定をする

センタースピーカーまでの距離の設定

ここで設定を行った後にルーム設定（9ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順 3 から始めます。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. システム 3 **システム設定ボタンを押します**

3. ST– ST+ **⇦ ⇨ で、センタースピーカーまでの距離の設定モードを選びます**

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

```
Speaker C
```

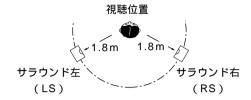
4. TUNE+ TUNE– **⇧ ⇩ で、センタースピーカーまでの距離を設定します**

0.3～9mの間を0.3m間隔で設定できます。

```
Distance    1.5 m
```

4. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順 3 から始めます**

決定 **設定モードを終了するには決定ボタンを押します**

サラウンドスピーカーまでの距離の設定

ここで設定を行った後にルーム設定（9ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順 3 から始めます。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. システム 3 **システム設定ボタンを押します**

3. ST– ST+ **⇦ ⇨ で、サラウンドスピーカーまでの距離の設定モードを選びます**

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

```
Speaker LS/RS
```

4. TUNE+ TUNE– **⇧ ⇩ で、サラウンドスピーカーまでの距離を設定します**

0.3～9mの間を0.3m間隔で設定できます。

```
Distance    1.8 m
```

4. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順 3 から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

ダイナミックレンジ(音声の強弱の幅)を調整する

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順 3 から始めます。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

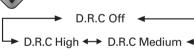
2. **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、ダイナミックレンジコントロールの設定モードを選びます**

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

D.R.C.

4. **⇧ ⇩ で、Off、Medium または High を選びます**

以下のように切り換わります。

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順 3 から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

▼ 小さい音量で楽しむ場合は、High に設定することをおすすめします。
▼ この設定はダイナミックレンジコントロール対応のドルビーデジタルソフトにのみ効果があります。

デュアルモノの設定

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順 3 から始めます。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

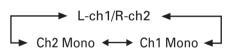
2. **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、デュアルモノの設定モードを選びます**

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

Dual Mono

4. **⇧ ⇩ で、再生するスピーカーと音声チャンネルを設定します**

以下のように切り換わります。

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順 3 から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

LFE アッテネータの設定

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順 3 から始めます。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. システム 3 **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、LFE アッテネータの設定モードを選びます**

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

LFE ATT

4. **⇧ ⇩ で、アッテネート(減衰)量 を選びます**

以下のように切り換わります。

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順 3 から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

▼ すべてのアッテネート(減衰)量で試し、最適な状態に設定することをおすすめします。
▼ Dolby Digital や DTS のように、再生するソフトにサブウーファーの専用チャンネルがある場合にのみ効果があります。

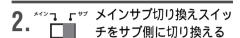
時計表示を24時間表示にする

ディスプレイ部の時計表示を12時間表示タイプか24時間表示タイプか切り換えることができます。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

3. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

4.

⇦ ⇨ で"Hour Format"にします

Hour Format

現在の設定が表示されます。

5.

⇧ ⇩ で、時計表示を "24 Hour" か "12 Hour" のどちらかを選びます

例）午後5時20分の場合
24 Hourを選択したときは「17：20」と表示し、12 Hourを選択したときは「5：20 PM」と表示します。

6. 決定

決定ボタンを押します

ステップ周波数を切り換える

国内では通常、FM/AM放送を受信するときの周波数ステップを、FM放送は50kHzごとに、AM放送は9kHzごとに設定されています（本機お買い上げ時の設定）。本機ではこのステップ周波数を、FM放送は100kHzステップ、AM放送は10kHzステップに変えることができます。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

3. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

4. ST– ST+

⇦ ⇨ で"Tuner Step"にします

Tuner Step

現在の設定が表示されます。

5. TUNE+ TUNE–

⇧ ⇩ で"AM 9kHz/FM 50kHz"または"AM 10kHz/FM 100kHz"を選択します

AM 9kHz/FM 50kHzにしたとき

AM9kHz/FM50kHz

AM 10kHz/FM 100kHzにしたとき

AM10kHz/FM100kHz

6. 決定

決定ボタンを押します

Q&A

Q: AM放送が受信できない

→ 国内で使用する場合は、ステップ周波数を9kHzに設定してください。

応用編　設定をする

ディスプレイ表示に関する設定

表示反転機能をオフにする

表示反転機能は約1分間何も操作がなかったときに表示が自動的に反転する機能です。反転は約30秒間隔で行われます。ここでは表示反転機能をOffにすることで、現在のディスプレイ表示を反転させないようにします。
お買い上げ時は、Onに設定されています。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

3. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

4.

⇦ ⇨ で "Reverse Display" にします

Reverse Display

現在の設定が表示されます。

5.

⇧ ⇩ で、表示反転機能の "Off" を選びます

お買い上げ時の設定に戻すときは "On" を選びます。

6. 決定

決定ボタンを押します

ディスプレイをシンプルに表示させる（シンプルディスプレイ）

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "Simple Mode" にします

Simple Mode

現在の設定が表示されます。

4.

⇧ ⇩ で、シンプルディスプレイ機能の "On" を選びます

シンプルディスプレイモードはどの入力でも設定することができます。
お買い上げ時の設定に戻すときは "Off" を選びます。

5.

決定ボタンを押します

ディスプレイにムービーを表示させる（エンターテインメントモード）

エンターテインメントモードは約５分間何も操作がなかったとき、表示部にムービーを表示させる機能です。３つのパターンがあり、お買い上げ時は、Mode1 に設定されています。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

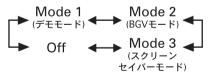
2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で "Entertainment" にします**

Entertainment

現在の設定が表示されます。

4. **⇧ ⇩ で、エンターテインメントモードを選びます**

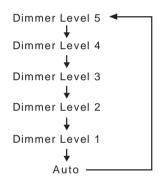
押すたびに以下のように切り換わります。

5. **決定ボタンを押します**

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて、表示の明るさを５段階で調整することができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、Level4（２番目に明るい設定）にされています。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

2. **ディマーボタンを押します**

押すごとに、表示の明るさが以下のように切り換わります。

メ モ

- ▼ Autoに設定すると通常時は一番暗い設定となり、ボタン操作のあったときのみ約20秒間、Level4（２番目に明るい設定）に変わります。
- ▼ Level1に設定すると通常時は一番暗い設定となり、ボタン操作のあったときのみ約20秒間、Level2（２番目に暗い設定）に変わります。

チャイルドロック機能を使う

この機能をオンにすると、本体の操作ボタンがすべて使用できなくなります。
小さなお子さまのいる家庭でのいたずら防止に便利な機能です。
お買い上げ時は、チャイルドロック機能はオフに設定されています。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

3. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

4.

⇦ ⇨ で "Child Lock" にします

Child Lock

現在の設定が表示されます。

5.

⇧ ⇩ で、チャイルドロック機能の "On" または "Off" を選びます

6. 決定

決定ボタンを押します

DVD オーディオ信号をビデオ 1 音声出力端子から出力する

ここでの設定をOffにすると、DVD-Audioを再生したときスピーカー出力はマルチチャンネル出力されますがVIDEO1音声出力はミュートされます。Onのときは、DVD-Audioを再生したときスピーカー出力はダウンミックスされた2.1chとなり、VIDEO1音声出力はダウンミックスされた2ch出力となります。このときディスプレイにはDownmixインジケーターが点灯します。
この設定は本機がDVD-Audioディスクを認識しているときのみ設定することができます。一度設定した内容は再度設定を行うまで有効です。
お買い上げ時は、Offに設定されています。

1. CD DVD

DVD/CD ボタンを押します

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

3. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

4. ST– ST+

⇦ ⇨ で "Rec Mode" にします

REC Mode

現在の設定が表示されます。

5. TUNE+ TUNE–

⇧ ⇩ で "On" または "Off" を選択します

"On" を選ぶと Downmix インジケーターが点灯します。

6. 決定

決定ボタンを押します

メ モ

▼ ディスクによってはREC ModeをONに設定してもVIDEO1音声出力からフロントL/R成分しか出力されないものがあります。

外部機器の接続のしかた

各入力の入出力一覧表

出力 \ 入力		DVD/CD	TUNER	TV	ビデオ1 映像入力	ビデオ1 S2映像入力	ビデオ2 映像入力	ビデオ2 S2映像入力	ビデオ3 映像入力	ビデオ3 S2映像入力
モニター出力	映像	○	×	×	○	×	○	×	○	×
	S2映像	○	×	×	×	○	×	○	×	○
	D2映像	○	×	×	×	×	×	×	×	×
ビデオ1出力	映像	○	×	×	×	×	○	×	○	×
	S2映像	○	×	×	×	×	×	○	×	○
	音声（右/左）	○＊2	○	○	○		アナログ音声入力 ○		アナログ音声入力 ○	
							デジタル音声入力 ×		デジタル音声入力 ×	
光デジタル出力		○＊1	×	×	×		アナログ音声入力 ×		アナログ音声入力 ×	
							デジタル音声入力 ○＊3		デジタル音声入力 ○＊3	

○：
出力されます

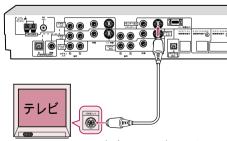
×：
出力されません

＊1 DVD オーディオ、SACD のときは出力されません。
DVD-Video の 96kHz PCM のときは出力されないときがありますので、ダウンサンプルオンに設定してください（71 ページ）。
＊2 DVD オーディオのときは、Rec モードをオンに設定すると出力されます（102 ページ）。
＊3 音声入力切換が Analog に設定されているときは、光デジタル出力しません。光デジタル出力したいときは音声入力切換を Optical か Coaxial に設定します。（106 ページ）

より鮮明な映像でテレビを見るには

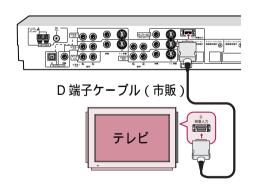
別冊の「システムセットアップガイド」では、付属の映像ケーブルを使用した接続方法でしたが、以下の接続を行うと、より鮮明な画像でDVDを楽しむことができます。

S 映像入力端子付きテレビの場合

S 映像入力端子を持っているテレビと、本機の **S2 モニター出力端子**とを市販の S ビデオケーブルで接続すると、映像入力端子につなぐより鮮明な映像になります。
DVDの場合、映像が横方向に引き伸ばしたように見える場合は、74 ページを参照して、S1 に設定してください。

S ビデオケーブル（市販）

D 端子対応のテレビの場合

市販の D 映像ケーブルで接続します。本機で DVD の高品位な映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。本機の **D2 モニター出力端子**は、接続するテレビの D1、D2、D3、または D4 のいずれの入力端子にも接続することができます。

D 端子ケーブル（市販）

メ モ

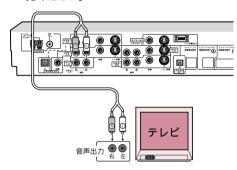
▼ 本機のビデオ映像入力端子で外部機器と接続したときはテレビとの接続も同じタイプのコードで接続してください。この場合、テレビに複数のタイプのコードを接続するとコンポジットが入力されないテレビがあります。

テレビの音声を本機で聞いたりするには

本機に接続したテレビの音声を、本機のスピーカで楽しむことができます。

接続のしかた

本機の**音声 / テレビ入力端子**と、接続したテレビの出力端子とを、市販のオーディオコード（ピンプラグ付接続コード）で接続します。

- 詳しくは、接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機で聞くには

TV

テレビボタンを押します

メ モ

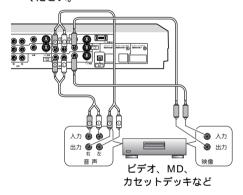
▼ サラウンド再生の設定が Auto（お買い上げ時の設定）のときは、ステレオ再生となります。マルチチャンネル（5.1ch）再生にしたいときは、サラウンドボタンを押して、お好きなモードにしてください。（59～60ページ）

ビデオやカセットデッキなどを接続して本機で聞いたりするには

CD-R、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。これにより、接続した機器で本機の音声を録音したり、接続した機器を本機のスピーカーから聞いたりすることができます。

接続のしかた（VIDEO1/2/3）

本機の**ビデオ 1/2/3 入力端子**と接続機器の出力端子、本機の**ビデオ 1 出力端子**と接続機器の入力端子とを、それぞれ市販のオーディオコードまたはビデオコード（ピンプラグ付接続コード）で接続します。（本機の映像 / 音声出力端子はビデオ 1 のみです）

- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞くには（アナログ入力にする）

V1/V2/V3
VIDEO

VIDEO ボタンを押して、Video1、Video2 または Video3 にします

押すごとに、Video1、Video2、Video3 入力が切り換わります。

メ モ

▼ サラウンド再生の設定がAuto（お買い上げ時の設定）のときは、ステレオ再生となります。マルチチャンネル（5.1ch）再生にしたいときは、サラウンドボタンを押して、お好きなモードにしてください。（59 ページ）

外部機器音声の歪みを減らす

本機の**ビデオ 1/2/3 音声入力端子**または**テレビ音声入力端子**にアナログ接続した外部機器の音声を本機で再生していると、歪みっぽく感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンにセットすると改善されることがあります。
アッテネーターの設定は、Television または Video1/2/3 の各入力ごとに設定することができます。

1.

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

3. システムメニュー 6

システムメニューボタンを押します

4.

⇦ ⇨ で設定したい入力を選びます

"TV Audio" か "Video1 Audio"、"Video2 Audio"、"Video3 Audio" のそれぞれに設定することができます。

5. TUNE+ TUNE–

⇧ ⇩ で最適な減衰値を選びます

ATT 6dB

6dB ATT

ATT 10dB

10dB ATT

ATT なし

ATT Off

6. 決定

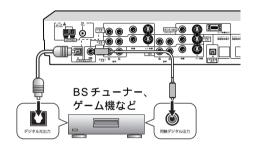
決定ボタンを押します

BS チューナーやゲーム機などの音声を本機で聞くには

BS チューナー、CS チューナー、ゲーム機などの機器を本機にデジタルで接続し、本機で聞くことができます。これにより、5.1ch 対応のゲームを、立体音場で楽しむことができます。

接続のしかた

市販の光ケーブルで、本機の**ビデオ 2 デジタル光入力端子**または市販の同軸ケーブルで**ビデオ 3 同軸デジタル入力端子**と接続する機器のデジタル光出力端子または同軸デジタル出力端子とを接続します。

- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞くには（デジタル入力にする）

V1/V2/V3 VIDEO

VIDEO ボタンを押して、Video2 または Video3 にします

押すごとに、Video2、Video3 入力が切り換わります。

ビデオ 2、ビデオ 3 音声入力のデジタル / アナログ切り換え

本機の**ビデオ 2 音声入力端子**を Analog にするか Optical にするかを選択することができます。**ビデオ 3 音声入力端子**は Analog にするか Coaxial にするかを選択することができます。

1. V1/V2/V3 VIDEO **VIDEO ボタンを押して、Video2 または Video3 にします**

2. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

3. システムメニュー 6 **システムメニューボタンを押します**

4. **⇦ ⇨ で設定したい入力を選びます**

入力がVideo2 のときは"Video2 Audio"を、入力が Video3 のときは "Video3 Audio" を選択することができます。

5. **⇧ ⇩ で "Analog" か "Optical"または"Coaxial"を選びます**

"Video2 Audio" 選んだ場合は、AnalogにするかOpticalにするかを選択します。
"Video3 Audio" を選んだ場合は、AnalogにするかCoaxialにするかを選択します。

6. 決定 **決定ボタンを押します**

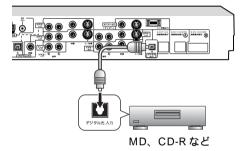
MD や CD-R などのデジタル機器で本機の音声を録音するには

MDやCD-Rなどの機器にデジタルで接続し､本機の音声をデジタル録音することができます。

接続のしかた

市販の光ケーブルで、本機の**デジタル光出力端子**と接続する機器のデジタル光入力端子とを接続します。

- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

MD、CD-R など

? Q&A

Q1: 外部接続したデジタル機器にデジタル録音ができない！

→ デジタル録音されたCD-Rを、さらに別のデジタル機器に録音することは禁止されているためできません。

→ ラジオ放送は、デジタル録音ができません。

→ DVD など、デジタル録音が禁止されているソフトを録音することはできません。

アンテナ接続について

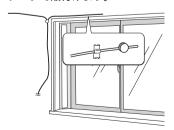
アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM 放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

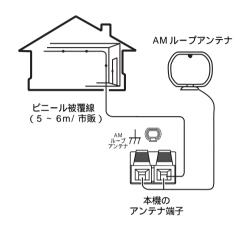
- できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

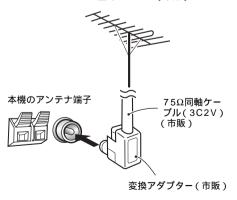
FM 簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画鋲やテープで貼付けます。

- 付属の FM 簡易アンテナは、FM 放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

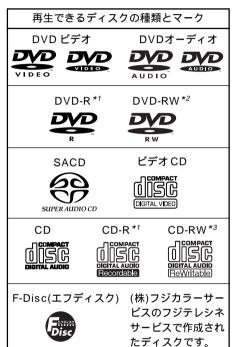
AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。

FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

DVD ディスクの基礎知識

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク		
DVD ビデオ	DVDオーディオ	
DVD-R *1	DVD-RW *2	
SACD	ビデオ CD	
CD	CD-R *1	CD-RW *3
F-Disc(エフディスク)	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。	

本機で再生できないディスクの種類

DVD-ROM、DVD-RAM、フォトCD、CD-G、リージョンが **「2」「ALL」** 以外の DVD ビデオなど

*1 DVD-R ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット記録されたDVD-R ディスクを再生することができます。

*2 DVD-RW ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RW ディスクに録画することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-RWディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット記録、および DVDビデオレコーディングフォーマット記録については113ページも合わせてご覧ください。

*3 CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽CD フォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、一部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660CD-ROM ファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 44.1kHz、または 48kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[このフォーマットは再生できません]と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)では、表示窓の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッションに対応しています。ただし、セッションをクローズしてください。
- フォルダー/トラックの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー / トラックの名前は[F_001]/[T_001]のように表示されることがあります。
- フォルダー / 総トラック数はそれぞれ 250 まで対応しています。251 以降のフォルダー / トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

注 意

◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW ディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。

◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。

◆ 本機はファイナライズ * していない音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW ディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽 CD フォーマット以外のファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。

◆ 詳しい CD-R/CD-RW ディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

◆ ファイナライズ**していないDVD-R/DVD-RW ディスクを再生することはできません。

* 録音が終了したCD-Rディスクを一般のCDプレーヤーで再生できるようにしたり、CD-RWディスクをCD-RW対応のプレーヤーで再生できるようにするための最終処理。

** ビデオフォーマットで録画したディスクを、一般のDVDプレーヤーで再生できるようにするための最終処理。

応用編

その他

DVD/CDディスクの取り扱いかた

保管

- かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、再生ができなくなることがあります。その場合は、クリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできない場合がありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

DVDオーディオのグループとトラックについて

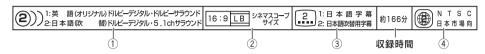
- ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVD ビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

ビデオCD/SACD/CDのトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

DVD のディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは 14 ページをご覧ください)。
上記の場合、英語音声はドルビーサラウンド（ドルビープロロジックサラウンド）で、日本語音声は 5.1ch のドルビーデジタルサラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9 の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(9、72 ページ)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは、15、76 ページをご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は 2 番で、ディスクに記載された地域番号が 2 番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(41 ページ)。

メ モ

▼ DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の 3 つが現在主流となっています。

ドルビーデジタルとは.. DOLBY DIGITAL

DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。

DVDのディスクジャケットの表記について

DTS* とは..

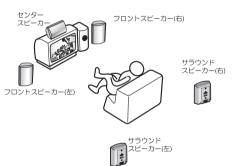
DTSとはデジタルシアターシステム（Digital Theater System）の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

応用編

リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートライブなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

- **ステレオ再生とは..**
  左右2つのスピーカーとサブウーファーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD(ステレオ2chで録音されています)は、5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーとサブウーファーからしか再生されません。

- **ドルビープロロジックサラウンド再生とは..**
  ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音(モノラル)で再生されます。（ドルビープロロジックII の場合は、ステレオで再生されます。）

- **ドルビーデジタル5.1chまたはDTSサラウンド再生とは..**
  ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

その他

* *DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。*

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは 4：3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

アッテネーター
「減衰器」とも呼ばれ、外部機器から入力した信号を正確に減衰させるための回路です。出力音声が歪んでいる場合、改善することができます。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して１本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

ビデオレコーディングフォーマット記録
映像、および音声信号を DVD-RW レコーダーで DVD-RW ディスクの不特定な位置に即時書き込み * することをいいます。(* 即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアの DVD レコーダーではこれを VR モード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD(バージョン 2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 / 標準解像度の静止画も楽しむことができます。

ボーナスグループ
DVD オーディオでは、4 桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の１つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大 8 言語(8 ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大 32 カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション

CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョン No.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン No. は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D 端子

デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y/C_B/C_R)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を１つのコネクタで接続する端子です。

DVD オーディオ / ビデオの静止画

DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には 2 種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。
なお、DVDビデオの静止画はスライドショーのみです。

PCM

Pulse Code Modulationの略で、圧縮していない 2 チャンネルステレオデジタル音声です。CD のデジタル音声はほとんどこの方式です。DVD の音声記録方式の 1 つでもありますが、CD のサンプリング周波数が 44kHz であるのに対し、DVD のサンプリング周波数は 48kHz や 96kHz と高いので、DVD の方がより高音質の音声を楽しめます。

DVD ビデオフォーマット記録

DVD VIDEO、または DVD VIDEO マークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)で DVD-R/DVD-RW ディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアの DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間：1時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間：2 時間)があります。

F-Disc（エフディスク）
8mm フィルムで撮った映像を DVD ディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI
Graphical User Interface の略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MP3
MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと 3 文字のアルファベットで構成されています。

MPEG
Moving Picture Experts Group の略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVD の映像やビデオ CD の映像 / 音声は、この方式で記録されています。DVD の中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1 映像出力
S1 とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)との識別信号の入った S 映像信号です。

S2 映像出力
S1 に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入った S 映像信号です。S2 対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

SACD
CD の規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACD には 1 層ディスク、2 層ディスクとハイブリッドディスクの 3 種類があります。ハイブリッドディスクは、SACD と CD の両方の構造を持ちあわせています。

3/2.1CH
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表わしています。
例）5.1CH の場合
- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1 チャンネル[1CH × 0.1*2 = 0.1CH]

***1**: 重低音強調効果の意
***2**: 音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面には下記のように表示されます。

ヘッドホンサラウンド再生
マルチチャンネルサラウンド再生時の臨場感をヘッドホンでお楽しみ頂けます。

ドルビープロロジックサラウンド再生
2ch サラウンド信号や 2ch ステレオ信号をドルビープロロジック回路を通し、マルチチャンネルサラウンドで再生することです。2chサラウンド信号については圧縮された信号を忠実にデコード（再生）し、2ch ステレオ信号については 2 チャンネル分の信号からセンター、サラウンドチャンネルの信号をつくりだします。ただし、この再生方式ではサラウンドチャンネルはモノラルであるため、左右のサラウンドスピーカーからは同じ音声が出力されます。

ドルビープロロジック ll サラウンド再生
ドルビープロロジック II は、ドルビープロロジックを更に改良し、ステレオ音声を5.1chに拡張して再生するためのマトリックスデコード技術です。ステアリングロジック回路により、全可聴帯域のメイン 5ch を作り出します。CD のような通常のステレオ音楽素材に対してもより優れた立体音場効果、包囲感、より明確な定位をもたらし、ドルビーサラウンドエンコードされた素材はディスクリート5.1chに匹敵する移動感をも実現できるものです。

■プロロジックとプロロジックIIの違い

	プロロジック	プロロジックII
効果的なソース	ドルビーサラウンドエンコード処理されたステレオ音声	すべてのステレオ音声
デコードチャンネル数	4.1ch（サラウンドモノラル）	5.1ch（サラウンドステレオ）
周波数特性	サラウンド7kHz帯域制限	全チャンネルフルバンド

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic、ダブル D 記号及び AAC ロゴは、ドルビーラボラトリーズの商標です。

マルチチャンネルサラウンド再生
3 本以上のスピーカーでサラウンド再生することです。音声信号が 3 チャンネル以上の録音方式で記録されているソフトについてはソフトに忠実に再生します。なかでも 5.1chサラウンド信号の再生については、左右のサラウンドスピーカーからもそれぞれ異なる音声が出力されるので、ドルビープロロジックサラウンド再生に比べ、より立体感のある音場で迫力のある臨場感がお楽しみいただけます。

デコード
ドルビーデジタル、DTS、MPEG-2 AAC などの圧縮されたデジタル信号を解凍して再生することです。

MPEG-2 AAC(Advanced Audio Coding)
MPEG-2 オーディオの標準方式の一つで、BS デジタル放送で採用されている音声符号化規格です。低ビットレートでかつ高音質を確保できる点が特長で、番組内容によりマルチチャンネル設定が可能なフォーマットです。以下が米国パテントナンバーです。

08/937,950
5848391
5,291,557
5,451,954
5 400 433
5,222,189
5,357,594
5 752 225
5,394,473
5,583,962
5,274,740
5,633,981
5,481,614
5,592,584
5,781,888
08/039,478
08/211,547
5,703,999
08/557,046
08/894,844
5,299,238
5,299,239
5,299,240
5,197,087

5 297 236
4,914,701
5,235,671
07/640,550
5,579,430
08/678,666
98/03037
97/02875
97/02874
98/03036
5,227,788
5,285,498
5,490,170
5,264,846
5,268,685
5,375,189
5,581,654
05-183,988
5,548,574
08/506,729
08/576,495
5,717,821
08/392,756

こんな表示が出たときは

(本体表示部) **Child Lock**

102ページのチャイルドロック機能がセットされているときに、本機の操作ボタンを使用すると、表示されます。チャイルドロック機能がセットされているときは、本体の操作ボタンは使用することはできません。解除してから操作してください。

(本体表示部) **Can’t Use**

本機で禁止されている操作をしたときに表示します。

(本体表示部) **Tray Lock**

- **本体のTRAY OPEN/CLOSEボタン**を8秒以上押して「Tray Lock Off」を表示させせると、ディスクテーブルを開閉することができます。

マルチチャンネル再生にならないときは

マルチチャンネル（5.1ch）再生にならないときは、以下を確認してみてください。案外簡単なミスや勘違いをしていることもあります。

1. テストトーンを出力してみる（91ページ）

すべてのスピーカーからテストトーン（ザーという音）が出力されていることを確認してください。テストトーンが出力されないスピーカーがあるときは、接続をもう一度確かめてから、もう一度テストトーンを出力してみてください。

2. 適切なサラウンドモードを選ぶ（58～61ページ）

まず、**オートボタン**を押してください。再生している音声に応じたサウンドモードに自動で切りかわります。

ステレオ再生になった場合

サラウンドボタンを押して、以下のいずれかのモードにします。
ステレオ再生をマルチチャンネルにして再生します。
- Dolby Pro Logic
- Dolby Pro Logic II Movie
- Dolby Pro Logic II Music

メ モ

▼ 複数の音声が収録されているDVDディスクの場合、再生している音声によって、ステレオ再生またはマルチチャンネル再生になります。（111ページ）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
	すべてに共通	
音が出ない。	• すべてのコードが完全に接続されていません。接続のしかたを参照して、正しく接続してください。 • スピーカーコードがショート（接触）しています。スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、もう一度スピーカー端子に接続し直してください。 • ミューティング状態になっています。リモコンの消音ボタンを押してください。 • 音量がゼロになっています。音量を調整してください。 • ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。 • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ • ヘッドホンが挿入されていませんか？ヘッドホンを抜いてください。	**セットアップガイド** **セットアップガイド** **19 ページ** **12 ページ** **36-37 ページ** **17 ページ**
サラウンド（センター）スピーカーから音が出ない	• スピーカーが正しく接続されていません。もう一度接続を確認してください。 • ステレオ再生になっています。サラウンドボタンを押して適切なサラウンドモードにしてください。	**セットアップガイド** **59 ページ**
テストトーンが出てこないスピーカーがある	• スピーカーの接続が外れていませんか？ 確認してください。	**セットアップガイド**
テストトーンがまったく出ない	• スピーカーの接続が外れていませんか？ 確認してください。 • ミューティング状態になっています。リモコンの消音ボタンを押してください。 • ヘッドホンが挿入されていませんか？ヘッドホンを抜いてください。 • マナーモードが選択されていませんか？マナーモードを解除してください。	**セットアップガイド** **19 ページ** **17 ページ** **63 ページ**
テストトーンボタンを押してもCan 't Useと表示されテストトーンを出せない	• サラウンドモードがAutoかStereoになっていませんか？他のサラウンドモードに変更してください。	**91 ページ**
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻STANDBY/ONボタン、またはリモコンの⏻電源ボタンを押して、表示部の[**See You**]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットから電源コードを接続しているときはご注意ください。	

応用編

その他

症状	原因 / 対策	参照ページ
本体の操作ボタンを押しても動作しない。	• チャイルドロック機能が、オンに設定されていませんか？チャイルドロック機能をオフに設定してください。	102 ページ
ドアが開かないまたはトレイが出ない。	• ドアとテーブルやラックの間に物がはさまっていませんか？はさまっている物を取り除いてください。	
DVD/CD 関係		
画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	• 一度、■ボタンを押してから、もう一度再生してください。 • 本機の内部が結露していませんか?しばらく放置してください。 • PAL方式やSECAM方式のディスクでは再生できません。NTSC 方式のディスクを使用してください。	108 ページ
ディスクトレイを閉めても出てきたり、再生ができない。	• ディスクを表裏逆に入れていませんか?ディスクを正しくセットしてください。 • ディスクが極端に汚れていませんか?ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクがディスクトレイに正しくセットされていません。ディスクを正しくセットしてください。 • リージョン NO. が一致していません。リージョン「2」か「ALL」のディスクを使用してください。	10 ページ 10 ページ 111 ページ
DVD の音声や字幕が切り換わらない。	• ディスクに複数の字幕や音声が記録されていない。DVD ディスクのジャケットを確認してください。 • リモコンの音声ボタンや字幕ボタンで切り換わらない DVDディスクがあります。そのときは、DVD のメニュー画面にて切り換えてください。	111 ページ 75-76 ページ
画面が縦または横に伸びる、またはアスペクトが切り換わらない。	• テレビ画面とのマルチアスペクトの設定が合っていません。テレビ画面のマルチアスペクトの設定をしてください。 • S1 と S2 の設定が、ご使用のテレビの S 端子と合っていません。S 出力を S1 に設定してください。	9, 72 ページ 74 ページ
DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入る等の症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD 映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
音が出ない、音が歪む。	• ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。MP3 のディスクの場合は、とくに汚れに注意してください。 • 音量を上げ過ぎています。音量を下げてください。	12 ページ

症状	原因 / 対策	参照ページ
MP3 ファイルを記録したディスクを再生することができない。	• 記録したディスクがISO9960フォーマットに準拠していないと再生できません。画面に**「このフォーマットは再生できません」**と表示されます。 • MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数44.1kHz、または48kHzの固定ビットレートで記録されていないと再生できません。画面に**「このフォーマットは再生できません」**と表示されます。	**109 ページ** **109 ページ**
DVD と CD で音量差を感じる	• これはディスクの記録方式の違いによるものです。故障ではありません。	
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
ディスクに記録されているトラック(MP3ファイル)を選択することができない。	• 本機では「.mp3」、または「.MP3」以外の拡張子がついているファイルを認識することはできません。拡張子を「.mp3」、または「.MP3」に変更してください。 • 本機では 251 以上のフォルダー、またはトラックを認識することはできません。 • 本機はマルチセッションに対応していますが、セッションがクローズされていないと再生できません。	**109 ページ**
96kHz のデジタルオーディオが出力されない	• コピー保護など、いくつかの DVD では 96kHz オーディオは出力しません。この場合 96kHz が選択されていても出力は自動的に 48kHz になります。これは故障ではありません。 • [リニアPCM出力]の設定で[ダウンサンプルオン]が選択されていないか確認してください。 • 著作権保護がされているディスクでは96kHz音声のデジタル出力が禁止されています。	**71 ページ**
デジタル音声が出力できない。	• DVDオーディオやSACDはデジタル音声を出力できません。ビデオ 1 のアナログ音声出力を接続してください。	
DVD オーディオを再生すると途中で停止してしまう。	• 違法に複製されたディスクの可能性があります。	
SACD の再生がマルチチャンネルにならない。	• SACD再生の設定が[2chエリア]になっていませんか？設定を[マルチ ch エリア]に切り換えてください。	**87 ページ**
放送関係		
放送が聞こえない、聞き苦しい。	• アンテナが接続されていません。アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置が悪くなっています。アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	**セットアップガイド** **セットアップガイド**

症状	原因 / 対策	参照ページ
FM 放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部のモノインジケーターが点灯していませんか？FM Mode の設定を Auto にしてください。	33 ページ
外部機器関係		
BS デジタルチューナーからの音が、マルチチャンネル再生にならない。	• 表示部のAACインジケーターが点灯していますか？ BSデジタルチューナー（またはBSデジタルチューナー内蔵テレビ）の音声出力設定で、MPEG-2 AAC 信号を出力するように設定してください。 • 放送がマルチチャンネル放送（5.1ch）ですか？ステレオ放送やモノラル放送のときは、サラウンドボタンを押して、マルチチャンネル再生にしてください。 • 放送がマルチチャンネル放送（5.1ch）のときは、オートボタンを押して、AUTO にしてください。	23 ページ 59 ページ 58 ページ
デュアルモノの設定をしても BS デジタル放送の二カ国後音声が切りかわらない。	• 入力信号がデュアルモノフォーマットのときのみデュアルモノ設定は有効です。それ以外のときは、BS チューナー側（テレビ側）で操作を行ってください。	
ビデオ 1 〜 3、テレビに接続した機器からの音がひずむ。	• 接続した機器からの出力レベルが大きくなっています。入力アッテネーターを“ 6dB ATT ”または“ 10dB ATT ”にしてください。	105 ページ
ビデオ 1 〜 3 に接続した機器からの音が出ない。	• 正しく接続されているか、もう一度確認してください。 • VIDEO ボタンを押して、Video1 〜 3 にしてください。 • デジタル接続しているときはデジタル/アナログ入力の切り換えを行ってください。	104-105 ページ 104-105 ページ 106 ページ
ビデオ 1 〜 3 に接続した機器の映像が出ない。	• 接続した Video 入力になっていますか？ VIDEO ボタンを押して、正しい入力を選択します。 • 接続した機器と同じ種類のコードでテレビと接続していますか？同じ種類のコードで接続してください。 • テレビに複数のタイプのコードが接続されていませんか？テレビによっては複数のタイプの信号を入力できないものがあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。	104 ページ
テレビに接続した機器からの音が出ない。	• 正しく接続されているか、もう一度確認してください。 • TV ボタンを押してください。	104 ページ 104 ページ
96kHz 信号を入力していないのにディスプレイに 96kHz が表示される。	• 外部機器から88.2kHz PCMデジタル信号を入力しているときはディスプレイに96kHzが表示されます。故障ではありません。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
	その他	
タイマーが作動しない。	• 現在時刻の設定がされていません。現在時刻を設定してください。	25 ページ
リモコンがきかない。	• リモコンの電池がなくなっています。新しい電池にかえてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにあります。蛍光灯をリモコン受光部から離してください。 • 7m以内、左右30度以内で、リモコンをディスプレイユニットに向けて操作してください。 • ディスプレイユニットとリモコンとの間に、信号を遮る障害物がありませんか?障害物を取り除くか、操作する場所を移動してください。 • 操作したいテレビのリモコンコードが設定されていないと、本機のリモコンでテレビを操作することはできません。	セットアップガイド セットアップガイド セットアップガイド 26 ページ
タイマーインジケーターが緑色に点滅して、電源が入らず何の操作もできない。	• 電源コードを抜いてからスピーカーコードがスピーカー端子からはみ出してリアパネルとショートしていないか、サブウーファーのリアにあるファンに異物がはさまっていないか確認してみてください。再び電源コードを差し込んでから1分後に⏻ 電源ボタンを押して電源を入れてみてください。それでも、本機の電源が入らず何の動作もしないときは、最寄りの弊社サービスステーションに連絡してください。	
設定した内容が、全てクリアーされている。	• 2、3日、電源コードを抜いたままにしておくと、設定した内容はクリアーされてしまいます。再設定してください。	
動作しない	• 電源コードがはずれていませんか？電源コードを正しく接続してください。	セットアップガイド

・ 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

メーカーコード表

メーカー	コード
ACURA	644
ADMIRAL	631
AIWA	660
AKAI	632, 635, 642
AKURA	641
ALBA	607, 639, 641, 644
AMSTRAD	642, 644, 647
ANITECH	644
ASA	645
ASUKA	641
AUDIOGONIC	607, 636
BASIC LINE	641, 644
BAUR	631, 607, 642
BEKO	638
BEON	607
BLAUPUNKT	631
BLUE SKY	641
BLUE STAR	618
BPL	618
BRANDT	636
BTC	641
BUSH	607, 641, 642, 644, 647, 656
CASCADE	644
CATHAY	607
CENTURION	607
CGB	642
CIMLINE	644
CLARIVOX	607
CLATRONIC	638
CONDOR	638
CONTEC	644
CROSLEY	632
CROWN	638, 644
CRYSTAL	642
CYBERTRON	641
DAEWOO	607, 644, 656
DAINICHI	641
DANSAI	607
DAYTON	644
DECCA	607, 648
DIXI	607, 644
DUMONT	653
ELIN	607
ELITE	641
ELTA	644
EMERSON	642
ERRES	607
FERGUSON	607, 636, 651
FINLANDIA	635, 643, 655
FINLUX	632, 607, 645, 648, 653, 654, 655
FIRSTLINE	640, 644

メーカー	コード
FISHER	632, 635, 638, 645
FORMENTI	632, 607, 642
FRONTECH	631, 642, 646
FRONTECH /PROTECH	632
FUJITSU	648, 629
FUNAI	640, 646, 658
GBC	632, 642
GE	601, 608, 607, 610, 617, 602, 628, 618
GEC	607, 634, 648
GELOSO	632, 644
GENEXXA	631, 641
GOLDSTAR	610, 623, 621, 602, 607, 650
GOODMANS	607, 639, 647, 648, 656
GORENJE	638
GPM	641
GRAETZ	631, 642
GRANADA	607, 635, 642, 643, 648
GRADIENTE	630, 657
GRANDIN	618
GRUNDIG	631, 653
HANSEATIC	607, 642
HCM	618, 644
HINARI	607, 641, 644
HISAWA	618
HITACHI	631, 633, 634, 636, 642, 643, 654, 606, 610, 624, 625, 618
HUANYU	656
HYPSON	607, 618, 646
ICE	646, 647
IMPERIAL	638, 642
INDIANA	607
INGELEN	631
INTERFUNK	631, 632, 607, 642
INTERVISION	646, 649
ISUKAI	641
ITC	642
ITT	631, 632, 642
JEC	605
JVC	613, 623
KAISUI	618, 641, 644
KAPSCH	631
KENDO	642
KENNEDY	632, 642
KORPEL	607
KOYODA	644
LEYCO	607, 640, 646, 648
LIESENK&TTER	607
LOEWE	607
LUXOR	632, 642, 643

メーカーコード表

メーカー	コード
M-ELECTRONIC	631, 644, 645, 654, 655, 656, 607, 636, 651
MAGNADYNE	632, 649
MAGNAFON	649
MAGNAVOX	607, 610, 603, 612, 629
MANESTH	639, 646
MARANTZ	607
MARK	607
MATSUI	607, 639, 640, 642, 644, 647, 648
MCMICHAEL	634
MEDIATOR	607
MEMOREX	644
METZ	631
MINERVA	631, 653
MITSUBISHI	609, 610, 602, 621, 631
MULTITECH	644, 649
NEC	659
NECKERMANN	631, 607
NEI	607, 642
NIKKAI	605, 607, 641, 646, 648
NOBLIKO	649
NOKIA	632, 642, 652
NORDMENDE	632, 636, 651, 652
OCEANIC	631, 632, 642
ORION	632, 607, 639, 640
OSAKI	641, 646, 648
OSO	641
OSUME	648
OTTO VERSAND	631, 632, 607, 642
PALLADIUM	638
PANAMA	646
PANASONIC	631, 607, 608,642, 622
PATHO CINEMA	642
PAUSA	644
PHILCO	632, 642
PHILIPS	631, 607, 634, 656
PHOENIX	632
PHONOLA	607
PROFEX	642, 644
PROTECH	607, 642, 644, 646, 649
QUELLE	631, 632, 607, 642, 645, 653
R-LINE	607
RADIOLA	607
RADIOSHACK	610, 623, 621, 602
RBM	653
RCA	601, 610, 615, 616, 617, 618, 661, 662, 609
REDIFFUSION	632, 642
REX	631, 646
ROADSTAR	641, 644, 646
SABA	631, 636, 642, 651
SAISHO	639, 644, 646
SALORA	631, 632, 642, 643
SAMBERS	649
SAMSUNG	607, 638, 644, 646
SANYO	635, 645, 648, 621, 614
SBR	607, 634
SCHAUB LORENZ	642
SCHNEIDER	607, 641, 647
SEG	642, 646
SEI	632, 640, 649
SELECO	631, 642
SHARP	602, 619, 627
SIAREM	632, 649
SIEMENS	631
SINUDYNE	632, 639, 640, 649
SKANTIC	643
SOLAVOX	631
SONOKO	607, 644
SONOLOR	631, 635
SONTEC	607
SONY	604
SOUNDWAVE	607
STANDARD	641, 644
STERN	631
SUSUMU	641
SYSLINE	607
TANDY	631, 641, 648
TASHIKO	634
TATUNG	607, 648
TEC	642
TELEAVIA	636
TELEFUNKEN	636, 637, 652
TELETECH	644
TENSAI	640, 641
THOMSON	636, 651, 652, 663
THORN	631, 607, 642, 645, 648
TOMASHI	618
TOSHIBA	605, 602, 626, 621, 653
TOWADA	642
ULTRAVOX	632, 642, 649
UNIVERSUM	631, 607, 638, 642, 645, 646, 654, 655
VESTEL	607
VICTOR	613
VOXSON	631
WALTHAM	643
WATSON	607
WATT RADIO	632, 642, 649
WHITE WESTINGHOUSE	607
YOKO	607, 642, 646
ZENITH	603, 620
PIONEER	600, 631, 632, 607, 636, 642, 651

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

日ごろのお手入れと取り扱いの注意

使用上の注意

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに**⏻STANDBY/ON(またはリモコンの⏻電源ボタン)**を押し、表示部の[**See You**]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」（128ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

設置上の注意

- 組み合わせて使用するテレビのそばの安定した場所を選んでください。また、次のような場所には設置しないでください
  ・湿気の多い所や風通しの悪い所・極端に暑い所や寒い所 ・振動のある所・ほこりの多い所・ 油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして故障の原因となります。
- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーシステムをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

通気孔をふさがない

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。通気孔はふさがないでください。風通しの悪い所に入れたり、毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などへ置いたりしないでください。

初期設定一覧

視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国コードは日本の設定となっています。

本機では、画面表示に N E C のフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font Avenue は NEC の登録商標です。

設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻す(初期化)

1. TUNER(FM/AM)

本体またはリモコンの TUNER ボタンを押して入力を Tuner にする

2. **本体の■ボタンを 8 秒間押し続けます**

Memory Clear? と表示されます。

3. **3 秒以内にもう一度本体の■ボタンを 3 秒間押し続けます**

設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化する前は十分にご注意ください。

メ モ

▼ 初期化すると、8 ページの画面が最初に表示されます。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

118～122ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD 5.1ch サラウンドシステム
- 型番：HTZ-1000DVまたはHTZ-1500DV
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

仕様

DVD/CD チューナー部 (XV-DV1000 または XV-DV1500)

■ DVD 部（音声）

周波数特性
　48 kHz サンプリング …… 4 Hz ～ 22 kHz
　96 kHz サンプリング …… 4 Hz ～ 44 kHz
　192 kHz サンプリング … 4 Hz ～ 88 kHz
SN 比 …… 110 dB
ダイナミックレンジ …… 98 dB
全高調波歪率 …… 0.004 %
ワウ・フラッター …… 測定限界以下
（± 0.001 % W.PEAK）

■ DVD 部（映像）

映像出力
出力レベル … 1 Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
出力端子 …… RCA 端子
S2 映像出力
映像 Y 出力レベル …… 1 Vp-p（75 Ω）
映像 C 出力レベル …… 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 …… S 端子
D2 映像出力（Y、C_B/P_B、C_R/P_R）
映像 Y 出力レベル …… 1 Vp-p（75 Ω）
映像 C_B/P_B、C_R/P_R 出力レベル
…… 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 …… D 端子

■ チューナ部

FM チューナ部
　受信周波数 …… 76.0 ～ 108.0 MHz
　アンテナ …… 75 Ω不平衡型
AM チューナ部
　受信周波数 …… 522 kHz ～ 1,629 kHz
（9 kHz ステップ）
…… 530kHz ～ 1,700kHz
（10 kHz ステップ）
　アンテナ …… ループアンテナ（付属）

■ その他

外形寸法 …… 380 X 71 X 299 mm
（幅） X （高さ） X （奥行）
質量 …… 4.1 kg
許容動作温度 …… ＋ 5 ℃～＋ 35 ℃
許容動作湿度 .. 5 %～ 85 %(結露のないこと)

スピーカーシステム部 (S-DV1000ST)

■ フロント / サラウンドスピーカー

型式 …… 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（EIAJ）
使用スピーカー
　ミッドレンジ …… 8.7 cm（コーン型）
　ツイータ …… 2.6 cm（ドーム型）
公称インピーダンス …… 6 Ω
再生周波数帯域 …… 100 ～ 60,000 Hz
最大入力 …… 75 W（EIAJ）
外形寸法 …… 120 X 154 X 84 mm
（幅） X （高さ） X （奥行）
質量 …… 1.2 kg

■ センタースピーカー

型式 …… 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（EIAJ）
使用スピーカー
　ミッドレンジ …… 15 cm × 6 cm（コーン型）
　ツイータ …… 2.6 cm（ドーム型）
公称インピーダンス …… 6 Ω
再生周波数帯域 …… 100 ～ 60,000 Hz
最大入力 …… 75 W（EIAJ）
外形寸法 …… 270 X 77 X 84 mm
（幅） X （高さ） X （奥行）
質量 …… 1.2 kg

アンプ内蔵サブウーファー部 (S-DV1000SW)

■ サブウーファー

型式 .... バスレフ式フロア型
防磁設計（EIAJ）
使用スピーカー
ウーファー .... 16 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 28 ～ 250 Hz
最大入力 .... 75 W（EIAJ）
外形寸法................. 190 X 395 X 425 mm
（幅） X（高さ） X（奥行）
質量 .... 13.5 kg

■ 電源部

電源電圧.................... AC100 V、50/60 Hz
消費電力.. 173W
スタンバイ消費電力 0.38W

■ アンプ部

実用最大出力（EIAJ）
フロント（1 kHz、10 %、6 Ω）
.... 75W x 2
リア（1 kHz、10 %、6 Ω）.... 75W x 2
センター（1 kHz、10 %、6 Ω）.... 75W
サブウーファー（100 Hz、10 %、6 Ω）
.... 75W

ディスプレイユニット部

外形寸法......................... 220 X 61 X 35 mm
（幅） X（高さ） X（奥行）
質量 .... 220 g

付属品

リモコン 1
ディスプレイユニット 1
AM ループアンテナ 1
FM アンテナ 1
ビデオコード （1.5 m）.................................. 1
単 3 形乾電池（AA/R6P）.............................. 2
電源コード 1
システムケーブル A 1
システムケーブル B 1
ディスプレイケーブル 1
スピーカーコード
（5 m / フロントスピーカー用）................ 2
（5 m / センタースピーカー用）................ 1
（10 m / サラウンドスピーカー用）......... 2
（5 m / サブウーファー用）....................... 1
滑り止めパッド（サブウーファー用）........... 4
滑り止めパッド
（フロント / センター / サラウンド用）........ 20
六角レンチ 1
ネジ 4
取扱説明書
本編（本書）.. 1
システムセットアップガイド 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
安全上のご注意 1
保証書 1

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　９：３０～１７：００、 土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーフォンは、ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口　：**0070-800-8181-22**
カタログのご請求窓口　：**0077-800-8181-33**
ファックス　：**03-3490-5718**

パイオニアホームページでのご案内
お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*
カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００、 土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）　：**0120-5-81095**
一般電話　：**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81096**

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００、 土曜　９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）　：**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
一般電話　：**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　９：３０～１８：００ （土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話　：**098-879-1910**
ファックス　：**098-879-1352**

高調波ガイドライン適合品

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TNGZW/02H00001>　<ARA7163-A>